

SHARP

取扱説明書（操作・設定編）

ネットワークカメラ

形名 **YK-D02AF**



このたびは、シャープ製ネットワークカメラ YK-D02AF（以下、本製品）をお買いあげいただき、まことにありがとうございました。

この取扱説明書（以下、本書）および、本製品に同梱されている取扱説明書（基本編）をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

ご使用前に、本製品に同梱されている取扱説明書（基本編）に記載の「安全上のご注意」を必ずお読みください。

お読みになった後は、いつでも見ることができる場所に必ず保存してください。

本書の内容は、改良のため予告なしに変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

取扱説明書（基本編）、および、ソフトウェアは下記 URL よりダウンロードすることができます。

<https://jp.sharp/business/security-camera/>

■ もくじ

はじめに	3
■ 取扱説明書について.....	3
■ 本製品でできること.....	4
■ ご使用になる前に確認してください.....	5
アクセスしてパスワードを設定する	6
■ 事前準備.....	6
■ ActiveX コントロールを許可する.....	6
■ プロキシサーバーを無効にする.....	7
■ カメラにアクセスしてパスワードを設定する.....	7
操作する	9
■ 画面の見かた.....	9
■ クイックボタン.....	10
■ スナップショットを撮影する.....	10
■ 録画を開始する.....	11
■ ライブビュー映像を拡大表示する.....	12
■ ePTZ 操作.....	13
■ ログアウトする.....	13
設定する	14
■ 設定.....	14
基本の設定	15
■ システム設定.....	15
一般設定.....	15
ユーザー設定.....	16
日時設定.....	17
OSD 設定.....	19
■ 映像設定.....	21
ストリーム設定.....	21
画質の基本設定.....	23
■ ネットワーク設定.....	25
一般設定.....	25
IPv6 設定.....	26
HTTP/RTSP.....	27
HTTPS.....	27
DDNS.....	29
SNMP.....	29
■ メンテナンス.....	31
ファームウェア更新.....	31
設定エクスポート/インポート.....	31

システム再起動	31
工場出荷設定	32
詳細設定	33
■ システム設定	33
システムログ	33
■ 映像設定	34
画質の詳細設定	34
ホワイトバランス調整	36
オートフォーカス	37
デイナイト	37
ROI	38
プライバシーマスク	38
レンズ歪曲補正	39
■ ネットワーク設定	41
マルチキャスト	41
IP アドレスフィルター	42
UPnP	42
Bonjour	43
SDDP/ハートビート	43
MAC アドレスフィルター	43
IEEE 802.1x	44
■ スマートイベント	45
スマートイベント	45
IVS	47
モーション検知	47
妨害検知	47
高度なモーション検知	48
ラインクロス検知/カラー検知	48
カウント機能	50
アラーム検知	51
ネットワーク障害検知	51
■ 通知	53
FTP 転送	53
メール通知	54
HTTP 通知	55
SD カード録画	56
SD カードバックアップ	56
Samba サービス	57
MQTT サービス	58

はじめに

■取扱説明書について

構成について

本製品の取扱説明書は、次の構成になっています。

- **取扱説明書 基本編：**
安全上のご注意、設置時や使用時のお願い事項について記載されています。
本製品を使用する前に必ずお読みください。
- **取扱説明書 操作・設定編（本書）：**
本製品を使用するにあたっての設定および操作方法について記載されています。

表記について

本書では、説明を簡単にするために「ネットワークカメラ」を「カメラ」、「ネットワーク・ビデオレコーダー」を「NVR」と表記します。

商標について

- Microsoft、Windows、Microsoft Edge、ActiveX は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- その他、本書に記載されている会社名・商品名は、各社の商標または登録商標です。

免責事項

本書に記載の仕様、外観、画面表示などは予告なしに変更する場合があります。また、本書に記載の内容は本製品の仕様すべてを網羅するものではありません。あらかじめご了承ください。

■本製品でできること

製品概要

本製品は、近赤外線照射機能を備えたドームタイプの屋外対応ネットワークカメラです。

形名	画素数	焦点距離	防水・防塵性	圧縮形式
YK-D02AF	約 200 万画素	2.8mm～12mm (バリフォーカル)	IP67	H.264/H.265

特長

●高圧縮

最新の動画圧縮規格 H.265 に準拠しており、H.264/H.265 形式でのマルチストリーミングが可能です。

●PoE 給電対応

PoE 給電に対応。ネットワークケーブルで電源を供給できるため、配線処理作業を効率化できます。

●Web ブラウザー対応

Microsoft Edge IE モードに対応しています。ライブビュー視聴の他、メール通知、HTTP プッシュ通知など、各種アラーム通知方法に対応しています。

主な機能

- 動画圧縮規格 H.264 および H.265 形式に準拠
- メールまたは FTP を介したスナップショットアラーム通知
- デイナイト機能を搭載
- モーション検知機能を搭載
- ネットワークタイムプロトコル (NTP) に対応
- ONVIF プロトコルに対応

■ご使用になる前に確認してください

接続する機器の推奨仕様について

本製品と接続して使用する機器の推奨仕様は、次のとおりです。

●パソコンの推奨仕様

対応 OS	: Windows10
Web ブラウザー	: Microsoft Edge IE モード
CPU	: Core i5 第7世代以降
メモリ	: 8GB
グラフィックボード	: NVIDIA

●LAN ケーブルの推奨仕様

カテゴリ	: 5e 以上に準拠
長さ	: 100m 以下

100m を超える場合は PoE ハブ等の電源供給機を併用ください。

●記録媒体の推奨仕様

種類	: microSD メモリーカード
容量	: 128GB 以下
SD スピードクラス	: CLASS10 (推奨)
フォーマット形式	: FAT32 (本製品にてフォーマットいただくことを推奨します。)

ユーザータイプ

本製品は、誤操作や不正な操作を防ぐため、ユーザーごとに操作できる機能を制限できます。

ユーザーは次の3タイプに分けられます。詳しくは、本書「システム設定」の「ユーザー設定」をご確認ください。

●管理者:

すべての操作・設定を実行できます。

●操作者:

すべての操作と一部の設定を実行できます。

●ゲスト:

ライブビューの視聴およびライブビュー画面での操作を実行できますが、設定画面にアクセスできません。

使用時の制約事項

本製品では、各操作や機能において次のような制約事項があります。内容をよくご確認の上、ご使用ください。

●再起動について

システムに過度の負荷がかかったとき、本製品は自動的に再起動する場合があります。

●動画（ライブビュー/再生）の表示について

フレームレート、解像度などの設定組み合わせ、あるいは、パソコンの仕様によってなめらかに表示されない場合があります。

●遠隔視聴サービス「シャープモバイルビューイング」について

本製品は、弊社が提供している遠隔視聴サービス「シャープモバイルビューイング」の公式アプリ「SHARP ビュー」に非対応です。本製品の映像を離れた場所から視聴したい場合は、本製品をインターネットに接続した上で、パソコンの Web ブラウザーからアクセスしてください。あるいは、本製品を弊社製 NVR に接続した上で、NVR をインターネットに接続し、パソコン、あるいはモバイル機器の Web ブラウザーからアクセスしてください。

遠隔視聴の詳しい設定方法については、お買いあげの販売店または弊社営業担当にご確認ください。

アクセスしてパスワードを設定する

■ 事前準備

- 取扱説明書（基本編）の「システム構成」に記載の構成で、カメラ、パソコンおよび PoE 給電機能付きネットワークスイッチ（NVR でも可）等を接続してください。
- 本製品にアクセスする前に、LAN ケーブルが正しく接続されていることを確認してください。

■ ActiveX コントロールを許可する

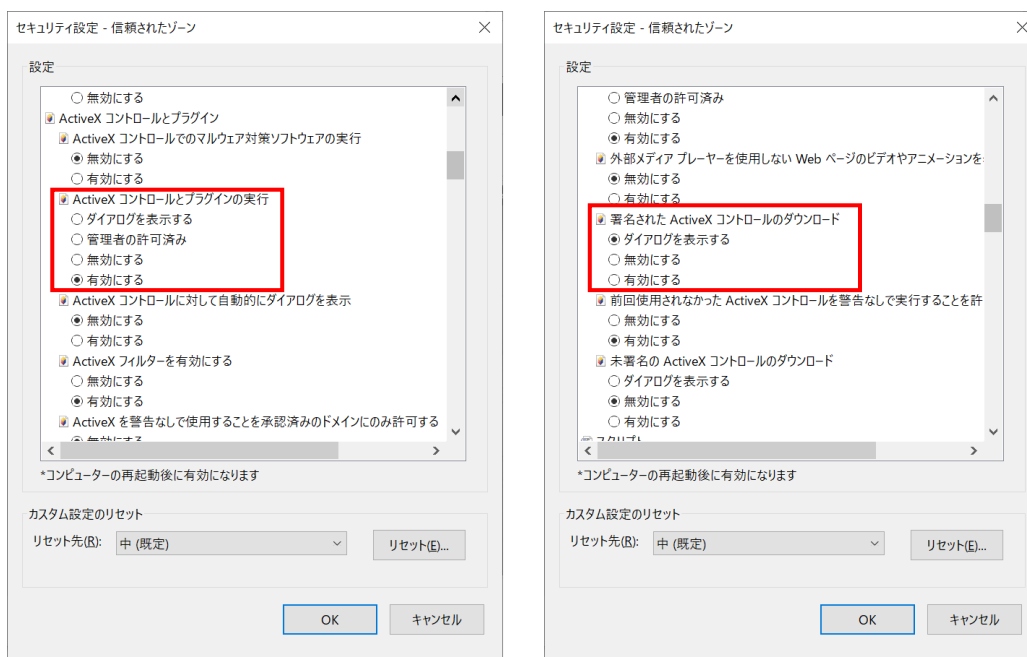
ライブビューを視聴するためには ActiveX コントロールが必要です。ActiveX コントロールのパソコン上での動作を許可するために、次の設定を実施してください。

1. パソコンの [セキュリティ設定] 画面を開きます。

パソコンの [スタート] ボタンをクリックし、[コントロールパネル] から、[インターネットオプション] > [セキュリティ] > [レベルのカスタマイズ] を開きます。（アイコン表示でコントロールパネルを操作した場合について記載しています。）

2. [ActiveX コントロールとプラグイン] の項目を設定します。

[ActiveX コントロールとプラグインの実行] で [有効にする] を選択し、[署名された ActiveX コントロールのダウンロード] で [ダイアログを表示する] を選択し、設定を保存します。



(Windows10 設定画面)

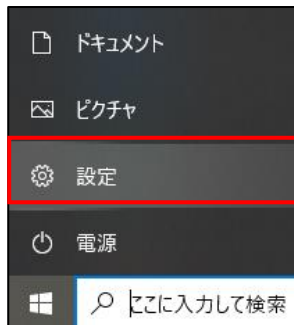
メモ：

- ご使用のパソコンによって設定画面や項目名称が異なります。

■ プロキシサーバーを無効にする

ネットワークの設定でプロキシサーバーが有効になっていると、カメラにアクセスできません。以下の手順でプロキシサーバーを無効にしてください。

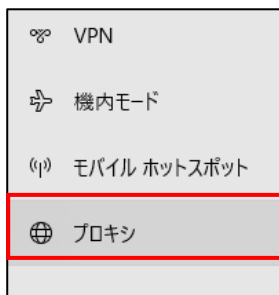
1. Windows の【設定】を開きます。



2. 【ネットワークとインターネット】を開きます。

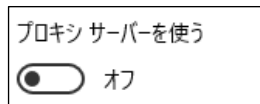


3. 【プロキシ】を開きます。



4. プロキシサーバーを無効にします。

プロキシの【プロキシサーバーを使う】をオフにします。



ご注意：

- 上記手順は、Windows10 の場合の操作となります。

■ カメラにアクセスしてパスワードを設定する

パソコンの Web ブラウザーを介してカメラにアクセスします。セキュリティの観点から、カメラにはじめてアクセスした際にユーザー名とパスワードを作成する必要があります。

1. パソコンとカメラを同一ネットワークに接続します。

パソコンのネットワーク設定方法については、パソコンの取扱説明書をご確認ください。

2. パソコンで Web ブラウザーを起動し、アドレスバーにカメラの初期 IP アドレスを入力後、エンターキーを押します。

カメラのパスワード作成画面が表示されれば、アクセス成功です。

ご注意：

- ネットワークのプロキシサーバーを無効にしてください。プロキシサーバーが有効になっているとカメラにアクセスできません。

メモ：

- Web ブラウザーは Microsoft Edge IE モードをご使用ください。
- JPEG またはフル HD ビデオを表示するには、ActiveX コントロールが必要です。インストールを要求する警告ダイアログが表示された場合は、画面の表示に従ってインストールしてください。
- 本製品の初期 IP アドレスは 192.168.0.200 です。使用可能な IP アドレスについては、ネットワーク管理者にご確認ください。

3. パスワード作成画面で、ユーザー名とパスワードを入力します。

4. [パスワードを作成] ボタンをクリックしてパスワードを設定します。

メモ：

- 設定したユーザーが管理者権限を持ちます。
- アルファベットの大文字と小文字は識別されます。
- パスワードは、8 文字以上、かつ、アルファベットの大文字、小文字、数字 (0~9)、記号 (~ ? / + = , ; . ' @ # ¥ % ^ & * () _ -) の中から 3 種類以上の文字を含める必要があります。

ご注意：

- ユーザー名およびパスワードといった認証情報はお客様ご自身の責任で適切に保管してください。
- 万一認証情報を忘れた場合は本書「工場出荷設定」に記載の手順で工場出荷状態にリセットしてください。

5. ActiveX コントロールをダウンロードします。

カメラに初めてアクセスした際、ActiveX コントロール (video.cab) に関するセキュリティ警告ダイアログが表示される場合があります。表示された場合は[インストール]をクリックし、ActiveX コントロールをインストールしてください。

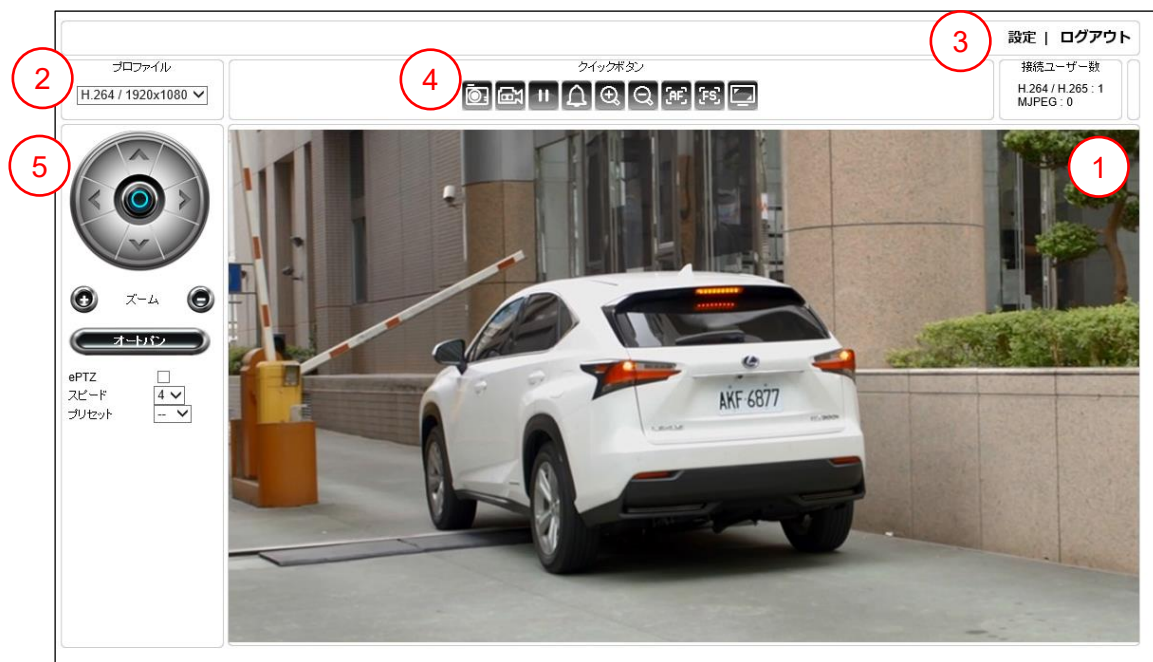
この Web サイトは、'IP Video Co., Ltd' からのアドオン 'video.cab' をインストールしようとしています。 [危険性の説明\(W\)](#)

インストール(0) ×

操作する

■画面の見かた

本製品のメイン画面の構成について説明します。






- | | |
|-------------|---------------------------------|
| ①ライブビュー画面 | : ストリーミング映像を表示します。 |
| ②プロフィールメニュー | : ライブビュー画面を別のプロフィールに切り替えます。 |
| ③設定 | : 設定画面を表示します。 |
| ④クイックボタン | : 各機能を実行または機能画面に切り替えます。 |
| ⑤ePTZ 操作パネル | : ePTZ (デジタルパン・チルト・ズーム) を操作します。 |

メモ:

- 選択できるプロフィールは、[設定] > [映像] > [ストリーム] から設定できます。
- ePTZ 操作パネルでは、画像処理を使ってパン・チルト・ズーム操作をおこないます。ROI が有効の場合、ePTZ ではなく ROI と表示されますが、操作方法は同じです。
- 操作者ユーザーの場合、設定によっては「設定」ボタンが表示されません。
- ゲストユーザーの場合、「設定」ボタン、クイックボタン、ePTZ 操作パネルは表示されません。

■ クイックボタン

クイックボタンの各機能は次の通りです。


アイコン	説明
	スナップショットを撮影します。
	録画を開始／停止します。
	録画を一時停止します。
	アラーム出力の有効／無効を切り替えます。
	光学ズームイン／ズームアウトします。
	自動でフォーカスを調整します。
	光学ズーム範囲をスキャンします。
	メイン画面の拡大表示／通常表示を切り替えます。

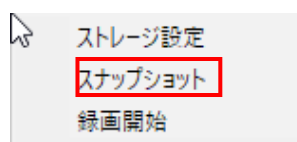
メモ：

- スナップショットおよび録画を開始するには Microsoft Edge の IE モードの設定で、カメラを信頼済サイトに登録しておく必要があります。
信頼済サイトに登録するには、[ツール] > [インターネットオプション] > [セキュリティ] を開きます。[信頼済サイト] > [サイト] ボタンを選択し、「この Web サイトをゾーンに追加する」の入力欄に登録するカメラのアドレスを入力し、[追加] ボタンを選択してください。ブラウザの再起動を行ってから、カメラに再度ログインしてください。
- アラーム出力については、本書「設定する ■コントロール設定」をご確認ください。

■ スナップショットを撮影する

スナップショットを撮影する方法は2通りあります。

- クイックボタン  の をクリックする
- ライブビュー画面上で右クリックし、メニューから [スナップショット] を選択する



取得したスナップショットは、[ストレージ設定] で設定しているフォルダに保存されます。





- **スナップショットデータ保存場所**：スナップショットの保存フォルダを設定します。
- **録画データ保存場所**：録画データの保存フォルダを設定します。
- **録画容量**：保存ファイルのデータサイズを設定します。
- **ハードウェアアクセラレーションを有効にする**：有効の場合、録画処理を効率化します。
- **フォント**：フォント設定画面が表示されます。設定内容は ActiveX OSD 表示に適用されます。

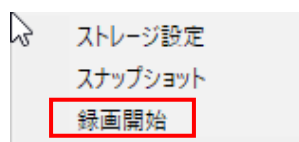
メモ：

- データ保存場所のパスは半角英数字の必要があります。
- 使用しているパソコンの環境によっては、ハードウェアアクセラレーションを有効にすると正しく動作しない場合があります。
- ActiveX OSD 表示は、[システム] > [一般設定] の「ActiveX OSD 表示」を有効にすることで表示されます。

■録画を開始／停止する

録画を開始／停止する方法は2通りあります。



- クイックボタンの  をクリックする
録画中にクイックボタンの  をクリックして録画を停止できます。
- ライブビュー画面上で右クリックして、表示されるメニューから [録画開始] を選択する
録画中にライブビュー画面上で右クリックして [録画停止] をクリックすることで、録画を停止できます。



取得した録画データは、[ストレージ設定] で設定しているフォルダに保存されます。

■ ライブビュー映像を拡大表示する

ライブビュー画面を大きく表示する方法は、次項で記述する ePTZ 操作を除いて 3 通りあります。


- クイックボタンの  をクリックする
クイックボタンや ePTZ 操作パネルを含めた画面表示全体が大きく表示されます。クイックボタンの  をクリックすると元の表示に戻ります。
- ライブビュー画面をダブルクリックする
ライブビュー画面がモニターに全画面表示されます。再度ダブルクリックすると、元の表示に戻ります。
- ライブビュー画面の中でドラッグ&ドロップする
ドラッグ&ドロップした範囲の左上を起点として、一定の範囲をデジタルズームして拡大表示します。右下に表示される枠内で緑の外枠を移動させることで、拡大箇所を変更することもできます。右クリックすると元の表示に戻ります。



■ ePTZ 操作

ePTZ 操作パネルでは、画像処理を使って仮想的にパン・チルト・ズーム操作することができます。



- ① **パン・チルト** : 矢印をクリックするとその方向にライブビュー表示が移動します。
中央の  をクリックするとすべての ePTZ 操作を解除して元の表示に戻ります。
- ② **ズーム** : デジタルズームイン/ズームアウトします。
- ③ **オートパン** : プリセットを順番に表示します。
- ④ **ROI** : チェックボックスをオンにすると ROI 操作が有効になります。
- スピード** : ePTZ 操作の速度を調整します。値が大きい程、1度のクリックでの変化量が大きくなります。
- プリセット** : 設定したプリセット位置に画面を移動します。プリセットは、
[詳細モード] > [映像] > [ROI] で設定できます。

メモ:

- ROI を有効にしている場合、“ePTZ”は“ROI”と表示されますが、操作方法は同じです。
- ROI の有効/無効は [詳細モード] > [映像] > [ROI] から変更できます。

■ ログアウトする

メイン画面の [ログアウト] ボタンをクリックしてログアウトします。



設定する

■ 設定

管理者または管理者権限のある操作者でログインしている場合、Web ブラウザーから本製品の設定を変更することができます。

メイン画面の「設定」ボタンをクリックして設定画面を表示します。



メモ：

- ゲストユーザーまたは管理者権限のない操作者ユーザーの場合は、設定ボタンが表示されません。

本製品の設定には「基本モード」と「詳細モード」があります。

「基本モード」は「詳細モード」の項目のうち、使用頻度の高い項目を設定できます。本書では、まず「基本モード」について説明し、その後、「詳細モード」にしかない設定項目について説明します。

<基本モード>

ライブ | **基本モード** | 詳細モード | 言語 | ログアウト



<詳細モード>

ライブ | 基本モード | **詳細モード** | 言語 | ログアウト



基本の設定

基本的な設定について説明します。

設定画面の「基本モード」を選択します。

ライブ | **基本モード** | 詳細モード | 言語 | ログアウト

システム

映像

ネットワーク

メンテナンス

■ システム設定

システムについて設定するには、設定画面の「システム」タブを選択します。

左側に表示される「一般設定」「ユーザー」「日時」「OSD」のメニューから確認または設定する項目を選択してください。

システム

映像

ネットワーク

メンテナンス

一般設定

ユーザー

日時

OSD

一般設定

[システム] → [一般設定] より、MAC アドレス、ファームウェアバージョン、OS バージョン、システム起動時間、デバイス名などのサーバーシステム情報を閲覧することができます。デバイス名は、本画面から変更できます。

基本 >> システム >> 一般設定	
MACアドレス	[REDACTED]
ファームウェア Ver.	[REDACTED]
OS Ver.	Linux 3.10.104+(Fri Sep 25 17:11:17 CST 2020)
システム起動時間	2020/10/28 17:36:08
デバイス名	<input type="text" value="YK-D02AF"/>
ActiveX OSD表示	<input type="radio"/> 有効 <input checked="" type="radio"/> 無効
ActiveX OSD名	<input type="text" value="YK-D02AF"/>
デバイス名	<input type="text" value="YK-D02AF"/>
ActiveX 低遅延モード	<input type="radio"/> 有効 <input checked="" type="radio"/> 無効
<input type="button" value="適用"/>	

- **MAC アドレス** : カメラの MAC アドレスを表示しています。
- **ファームウェア Ver.** : カメラのファームウェアバージョンを表示しています。
- **OS Ver.** : カメラの OS バージョンを表示しています。
- **システム起動時間** : 最後にシステムが起動された日時を表示しています。
- **デバイス名 (上側)** : デバイス名はユーザーがカメラを識別するために使用します。デバイス名を変更するには、カメラの新しい名前を入力し、[OK] をクリックします。
- **ActiveX OSD 表示** : 有効の場合「Active X OSD 名」をライブビュー画面に表示します。

- **ActiveX OSD 名** : ライブビュー画面に表示する文字列を入力します。
- **デバイス名 (下側)** : Web ブラウザーのウィンドウタブに表示する文字列を変更できます。
- **ActiveX 低遅延モード** : 有効の場合、ライブビューの遅延を低減します。

ユーザー設定

本製品には、最大で 10 名分のユーザーアカウントを登録することができます。アカウントごとに個別にユーザーグループ (アクセス権限) を設定することが可能です。ユーザーグループは、「管理者」「操作者」「ゲスト」から選択できます。

設定画面で [システム] → [ユーザー] を選択し、ユーザー設定画面を表示します。ユーザーを追加または編集するには、[ユーザー追加] または [ユーザー編集] をクリックします。

基本 >> システム >> ユーザー

ユーザー admin ▼

ユーザー追加 ユーザー編集 ユーザー削除

• ユーザーアカウントを追加する

新しいユーザーアカウントを追加するには、ユーザー設定画面で [ユーザー追加] を選択します。

基本 >> システム >> ユーザー

ユーザー admin ▼

ユーザー追加 ユーザー編集 ユーザー削除

ユーザー名とパスワードを入力し、パスワード確認欄に再度パスワードを入力します。次に、ユーザーグループを管理者/操作者/ゲストから選択します。適用をクリックしてユーザーを追加します。

ユーザー名	<input type="text"/>
新しいパスワード	<input type="password"/>
	パスワードは以下の基準に従って設定してください: (1)8文字以上 (2)アルファベットの大文字、小文字、数字、記号 (3)3種類以上の文字を含む
パスワード確認	<input type="password"/>
ユーザーグループ	<input type="radio"/> 管理者, <input checked="" type="radio"/> 操作者, <input type="radio"/> ゲスト
管理者権限	<input type="checkbox"/>
クイックボタン操作権限	<input checked="" type="checkbox"/>
PTZ操作	<input checked="" type="checkbox"/>
	<input type="button" value="適用"/> <input type="button" value="キャンセル"/>

メモ:

- 操作者の場合、権限の範囲を設定できます。
「管理者権限」のチェックボックスがオンの場合、管理者ユーザーと同じくすべての操作、設定ができます。
「クイックボタン操作権限」のチェックボックスがオンの場合、ライブビュー画面にクイックボタンが表示され、スナップショット、録画などの操作ができます。
「PTZ 操作」のチェックボックスがオンの場合、ライブビュー画面に ePTZ 操作パネルが表示され、ePTZ 操作ができます。
- ゲストの場合、ライブビュー映像は視聴できますが、その他の操作・設定はできません。

・ユーザーアカウントを編集する

ユーザーアカウントの編集では、ユーザーのパスワードおよびユーザーグループを変更できます。ユーザーが操作者の場合は、その権限の範囲を変更できます。

[ユーザー] のドロップダウンリストから該当するユーザーを選択し、[ユーザー編集] をクリックします。ユーザー情報を編集後、[適用] をクリックしてユーザー情報を保存します。

ユーザー名	<input type="text" value="Guest"/>
新しいパスワード	<input type="password" value="*****"/>
	パスワードは以下の基準に従って設定してください: (1)8文字以上 (2)アルファベットの英文字、小文字、数字、記号 (3)3種類以上の文字を含む
パスワード確認	<input type="password" value="*****"/>
ユーザーグループ	<input type="radio"/> 管理者, <input type="radio"/> 操作者, <input checked="" type="radio"/> ゲスト
管理者権限	<input type="checkbox"/>
クイックボタン操作権限	<input type="checkbox"/>
PTZ操作	<input type="checkbox"/>
	<input type="button" value="適用"/> <input type="button" value="キャンセル"/>

・ユーザーアカウントを削除する

ユーザーを削除するには、[ユーザー] のドロップダウンリストから該当するユーザーを選択し [ユーザー削除] をクリックします。確認ダイアログで [OK] をクリックしユーザーを削除します。

基本 >> システム >> ユーザー	
ユーザー	<input type="text" value="Guest"/>
<input type="button" value="ユーザー追加"/>	<input type="button" value="ユーザー編集"/> <input type="button" value="ユーザー削除"/>

日時設定

設定画面 [システム] → [日時] から、本製品の日時設定を変更できます。

・時刻を手動設定する/パソコンと時刻を合わせる

日付と時刻のドロップダウンメニューから日付と時刻を選択し、OK をクリックして適用します。「パソコンと時間を合わせる」をクリックすると、自動的にパソコンの時刻を入力します。

[適用] をクリックして設定を適用します。

基本 >> システム >> 日時	
サーバー時刻	Mon, 28 Dec 2020 16:41:32 GMT+0900
NTPサーバーと同期	<input type="radio"/> 1時間毎 <input checked="" type="radio"/> オフ
NTPサーバー	<input type="text" value="User define"/> <input type="text" value="ntp.nict.jp"/>
タイムゾーン	(GMT +09:00) Osaka, Sapporo, Tokyo
日付と時刻	2020 12 28 16 41 32 <input type="button" value="パソコンと時間を合わせる"/>
サマータイム	<input type="radio"/> オン <input checked="" type="radio"/> オフ
サマータイム 開始日時	1 1 0 (月/日/時)
サマータイム 終了日時	12 31 23 (月/日/時)
休日リストを有効	<input type="checkbox"/>
	<input type="button" value="適用"/>

・NTP サーバーと同期する

NTP サーバーと同期させるには、NTP サーバーと同期を 1 時間毎に変更し、使用する NTP サーバーを選択します。本製品のシステム日時が 1 時間毎に NTP サーバーと同期されるようになります。

基本 >> システム >> 日時

サーバー時刻 Mon, 28 Dec 2020 16:41:32 GMT+0900

NTPサーバーと同期 1時間毎 オフ

NTPサーバー User define

タイムゾーン (GMT +09:00) Osaka, Sapporo, Tokyo

日付と時刻 2020/12/28 16:38:19

サマータイム オン オフ

サマータイム 開始日時 1/1/0 (月/日/時)

サマータイム 終了日時 12/31/23 (月/日/時)

休日リストを有効

メモ :

- この機能を利用するには本製品をインターネットに接続してください。
- NTP サーバーの初期値は「ntp.nict.jp」です。

・サマータイムを設定する

サマータイムを有効にするには、サマータイムで「オン」を選択します。開始日時と終了日時を設定します。「適用」をクリックして設定を適用します。

基本 >> システム >> 日時

サーバー時刻 Mon, 28 Dec 2020 16:41:32 GMT+0900

NTPサーバーと同期 1時間毎 オフ

NTPサーバー User define

タイムゾーン (GMT +09:00) Osaka, Sapporo, Tokyo

日付と時刻 2020/12/28 16:38:19

サマータイム オン オフ

サマータイム 開始日時 7/1/0 (月/日/時)

サマータイム 終了日時 9/30/23 (月/日/時)

休日リストを有効

・ 休日リストを有効にする

「休日リストを有効」のチェックボックスをオンにすると、休日リストを設定できます。

休日リストは、詳細モードにおいて、スマートイベントのスケジュールに反映することができます。設定しておくことで、スマートイベントで複数のトリガーを設定する場合に、スケジュール設定を簡略化できます。

休日リストを有効

選択	名前	開始日時 (月-日 時:分)				終了日時 (月-日 時:分)			
<input type="checkbox"/>		1	1	0	0	12	31	23	59
<input type="checkbox"/>		1	1	0	0	12	31	23	59
<input type="checkbox"/>		1	1	0	0	12	31	23	59
<input type="checkbox"/>		1	1	0	0	12	31	23	59
<input type="checkbox"/>		1	1	0	0	12	31	23	59
<input type="checkbox"/>		1	1	0	0	12	31	23	59
<input type="checkbox"/>		1	1	0	0	12	31	23	59
<input type="checkbox"/>		1	1	0	0	12	31	23	59
<input type="checkbox"/>		1	1	0	0	12	31	23	59
<input type="checkbox"/>		1	1	0	0	12	31	23	59
<input type="checkbox"/>		1	1	0	0	12	31	23	59
<input type="checkbox"/>		1	1	0	0	12	31	23	59
<input type="checkbox"/>		1	1	0	0	12	31	23	59
<input type="checkbox"/>		1	1	0	0	12	31	23	59
<input type="checkbox"/>		1	1	0	0	12	31	23	59

- ・ **名前** : 休日リストの名前を入力します。
- ・ **開始日** : 開始日時を設定します。
- ・ **終了日** : 終了日時を設定します。

OSD設定

OSD（オンスクリーン・ディスプレイ）とは、映像上にシステム情報を表示する機能です。

設定画面 [システム] → [OSD] から、日付、カメラ ID、ステータスおよび透かしについて、OSDの表示/非表示の切り替えや、文字の色を設定することができます。

基本 >> システム >> OSD



OSD 文字サイズ

有効 無効

文字 カラー

背景 カラー

透過度 (40~255)

OSD 時刻タイプ (Y:年,M:月,D:日)

- **OSD 文字サイズ** : OSD テキストのサイズを選択します。
- **元の位置に戻す** : OSD 表示の位置をそれぞれ変更した場合に、初期の位置に戻します。表示位置は、画面上で各 OSD 表示位置をドラッグすることで変更できます。

OSD 表示について、次の項目を設定できます。

- **OSD** : 有効/無効を選択します。
- **文字カラー** : テキストの色を選択します。
- **背景カラー** : テキストの背景の色を選択します。
- **透過度** : 背景の透過度を選択します。255 の場合に不透過です。

日時については、OSD 時刻タイプで年月日の表示方法を選択できます。

ステータスについては、文字カラー（白）と背景カラー（赤）は固定となり選択できません。

透かしは、データ種類を「ユーザー定義」「透かしデータ」から選択できます。

■映像設定

映像について設定するには、設定画面の「映像」タブを選択します。左側に表示される「ストリーム」「画質 基本」のメニューから、確認または設定したい項目を選択してください。

ライブ | 基本モード | 詳細モード | 言語 | ログアウト



ストリーム設定

[映像] → [ストリーム] からストリーム情報を設定できます。

インターネットなど、帯域幅の狭いネットワークを介して映像を送信する場合は、実際にアップロードを実行する帯域幅に近いビットレートを設定してください。本製品はビットレート設定に基づいてフレームをエンコードします。



ストリーム全体について、以下の項目を設定できます。

- H.264 プロファイル** : メインプロファイルかハイプロファイルを選択してください。
- エンコーダー2/3** : 各エンコーダーの有効/無効を選択できます。
- 蛍光灯ちらつき低減** : 本製品を使用する地域の電源周波数を選択してください。蛍光灯による映像のちらつきを低減します。
- HDR** : HDR (High Dynamic Range) の有効/無効を選択できます。有効にすると、再起動後に有効になる旨のダイアログが表示され、[OK] をクリックするとカメラが再起動します。再起動するとエンコーダー 2 は無効になります。サブストリームとして、エンコーダー 2 を使用している場合は、エンコーダー 3 を有効にしてください。

エンコーダー 1 から 4 の各プロファイルについて設定できます。

- プロファイル** : 映像圧縮規格を JPEG/H.264/H.265 から選択してください。
- 解像度** : 映像ストリームの解像度を選択してください。
- フレームレート** : 映像のフレームレートを選択してください。(1fps~30fps)
- キーフレーム間隔** : 1 秒間に表示されるキーフレーム数を選択してください。

- **ビットレート制御設定** : VBR (可変ビットレート) / CBR (固定ビットレート) / スマートから選択してください。CBR より VBR の方が使用する帯域幅を抑えることができます。スマートを選択すると映像をより圧縮することができます。
- **ビットレート** : ネットワーク上で利用可能な最大ビットレートを設定してください。
- **RTSP URL** : リアルタイムストリーミングプロトコル (RTSP) を介して映像ストリームにアクセスする際の URL を表示しています。

メモ:

- 解像度は、設定値と実際の解像度に若干の差異が生じる場合があります。
- ビットレート制御設定で「スマート」を選択すると、後述の「スマート機能」を有効化します。圧縮化する際の指標となる項目を設定できます。

設定後、[適用] をクリックして設定内容を保存します。

スマート機能

本製品では、「スマート機能」を使って高解像度 (1980×1080) の映像においてより高い圧縮率を実現できます。

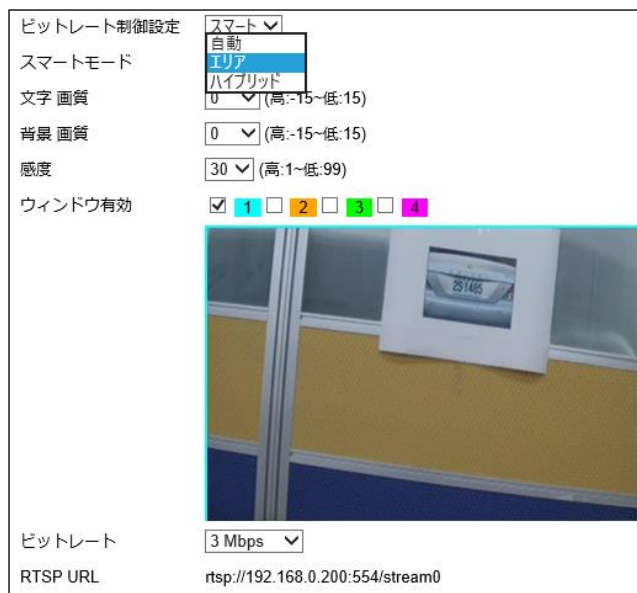
「スマート機能」を有効化するには、「映像」→「ストリーム」の「ビットレート制御設定」で「スマート」を選択します。

エンコーダー1	
プロファイル	H.265 ▼
解像度	1920x1080 ▼
フレームレート	30 ▼
キーフレーム間隔	30 ▼
ビットレート制御設定	スマート ▼
スマートモード	自動 ▼
文字 画質	0 ▼ (高:-15~低:15)
背景 画質	0 ▼ (高:-15~低:15)
感度	30 ▼ (高:1~低:99)
ビットレート	2 Mbps ▼
RTSP URL	rtsp://192.168.0.200:554/stream0

- **スマートモード** : 自動/エリア/ハイブリッドから選択します。自動は移動している物体を検知しそれ以外の領域を高圧縮します。エリアはウィンドウで設定した関心領域以外の領域を高圧縮します。ハイブリッドは移動体および関心領域以外の領域を高圧縮します。
- **文字 画質** : 関心領域や移動体の圧縮の程度を設定します。数値が大きいほど圧縮率が高くなります。
- **背景 画質** : 関心領域以外の領域や動きが少ない領域やの圧縮の程度を設定します。数値が大きいほど圧縮率が高くなります。

- **感度** : 移動している物体を検知する感度を設定します。感度が高い（数値が大きい）ほど圧縮率が高くなります。

スマートモードで「エリア」または「ハイブリッド」を選択すると、カメラ映像が表示され、ウィンドウ有効エリア（関心領域）を設定できます。



ウィンドウ（関心領域）は4箇所まで設定できます。有効化するウィンドウのチェックボックスにチェックを入れ、領域を設定してください。領域はカメラ映像上でマウスをドラッグすることで変更できます。

画質の基本設定

[映像] → [画質 基本] からデイモード、ナイトモードそれぞれについて、3Dノイズリダクション、明るさ、コントラスト、色合い、彩度、およびシャープネスを設定できます。デイモード、ナイトモードで設定を独立させることで、それぞれで最適な映像画質が得られます。



[デイモード] [ナイトモード] ボタンで設定するモードを選択します。デイモードはカラー映像、ナイトモードはモノクロ映像となります。

- **左右反転（ミラー）** : [オン] の場合、映像を左右反転します。
- **上下反転（フリップ）** : [オン] の場合、映像を上下反転します。
- **回転** : [オン] の場合、映像を 90 度回転します。
- **3D ノイズリダクション** : 夜間のノイズが目立つ場合、必要に応じて高く設定してください。
- **明るさ** : 映像の明るさを調整できます。
- **コントラスト** : 映像のコントラストを調整できます。
- **色合い** : 映像の色合いを調整できます。
- **彩度** : 映像の彩度を調整できます。

ご注意：

- 回転を [オン] にすると、ROI、ePTZ、プライバシーマスク、レンズ歪曲補正の操作を実行できなくなります。また、モーション検知の設定がリセットされます。

各項目の設定を変更すると、設定した内容が適用されます。

[初期値に戻す] をクリックすると初期設定に戻ります。

■ ネットワーク設定

ネットワークについて設定するには、設定画面の「ネットワーク」タブを選択します。左側に表示される「一般設定」「IPv6設定」「HTTP/RTSP」「HTTPS」「DDNS」「SNMP」のメニューから、確認または設定したい項目を選択してください。

ライブ | 基本モード | 詳細モード | 言語 | ログアウト



一般設定

【ネットワーク】→【一般設定】では、本製品をネットワークに接続するための基本設定を行います。本製品のデフォルト IP アドレスは 192.168.0.200 です。お使いのパソコンと本製品を同一ネットワークに接続し、Web ブラウザーにこの IP アドレスを入力することで、パソコンから本製品にアクセスできます。

基本 >> ネットワーク >> 一般設定

ネットワーク	<input checked="" type="radio"/> 固定 <input type="radio"/> DHCP <input type="radio"/> PPPoE
IPアドレス	<input type="text" value="192.168.0.200"/>
サブネットマスク	<input type="text" value="255.255.255.0"/>
ゲートウェイ	<input type="text" value="192.168.0.1"/>
プライマリDNS	<input type="text" value="168.95.1.1"/>
セカンダリDNS	<input type="text" value="168.95.1.1"/>
ユーザー名	<input type="text" value="account@pppoe.com"/>
パスワード	<input type="password" value="....."/>
QoS(DSCP)	<input type="text" value="0"/> (0~63)
第2のIPアドレス	<input type="radio"/> 有効 <input checked="" type="radio"/> 無効
第2のIPアドレス	<input type="text" value="192.168.0.200"/>
第2のサブネットマスク	<input type="text" value="255.255.255.0"/>
第3のIPアドレス	<input type="radio"/> 有効 <input checked="" type="radio"/> 無効
第3のIPアドレス	<input type="text" value="192.168.0.200"/>
第3サブネットマスク	<input type="text" value="255.255.255.0"/>

本製品のローカルエリアネットワークを設定するには、IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、および DNS を入力した後、【適用】をクリックします。

- **IP アドレス** : IP アドレスを設定します。デフォルトは 192.168.0.200 です。
- **サブネットマスク** : サブネットマスクを設定します。デフォルトは 255.255.255.0 です。
- **ゲートウェイ** : ゲートウェイを設定します。デフォルトは 192.168.0.1 です。
- **プライマリ DNS** : デフォルト (1 番目) の DNS サーバーの IP アドレスを設定します。
- **セカンダリ DNS** : 予備として使用される、デフォルト DNS に対する 2 番目の DNS サーバーの IP アドレスを設定します。
- **QoS(DSCP)** : DSCP 基準に基づいて TCP/IP パケットヘッダを設定し、パケットの優先度を指定します。

本製品を PPPoE 接続する場合は、「ネットワーク」で「PPPoE」を選択し、ユーザー名とパスワードを入力した後、[適用] をクリックします。

ネットワーク	<input type="radio"/> 固定 <input type="radio"/> DHCP <input checked="" type="radio"/> PPPoE
IPアドレス	<input type="text" value="192.168.0.200"/>
サブネットマスク	<input type="text" value="255.255.255.0"/>
ゲートウェイ	<input type="text" value="192.168.0.1"/>
プライマリDNS	<input type="text" value="168.95.1.1"/>
セカンダリDNS	<input type="text" value="168.95.1.1"/>
ユーザー名	<input type="text" value="account@pppoe.com"/>
パスワード	<input type="password" value="*****"/>
QoS(DSCP)	<input type="text" value="0"/> (0~63)

本製品をインターネットに接続する場合は、お使いのインターネットサービスプロバイダにグローバル IP アドレスを問い合わせます。プロバイダから提供された IP アドレス（グローバル）、サブネットマスク、ゲートウェイ IP を入力します。

ルーター、ゲートウェイ、およびその他の DHCP サーバーから、本製品の IP アドレスをリモートで指定できます。IP アドレス、サブネットマスク、およびゲートウェイを手動で設定する必要はありません。ただし、DHCP サービスが再起動するたびに、本製品の IP アドレスが変更されることがあります。

メモ：

- 「ネットワーク」で「DHCP」を選択すると、DHCP サーバーによって本製品の IP アドレスが指定されます。この機能の使用は、ローカルエリアネットワーク環境の場合のみ許可されます。

IPv6 設定

[ネットワーク] → [IPv6 設定] では、本製品の IPv6 アドレスを設定できます。

IP アドレス、デフォルトゲートウェイ、プライマリ DNS を入力し、[適用] をクリックします。

基本 >> ネットワーク >> IPv6設定	
ネットワーク	<input type="radio"/> オン <input checked="" type="radio"/> オフ
IPアドレス	<input type="text" value="fe80::000f:fc52:92fa"/> /64
デフォルトゲートウェイ	<input type="text"/>
プライマリDNS	<input type="text"/>
適用	

- **ネットワーク** : IPv6 アドレスのオン/オフを設定します。
- **IP アドレス** : IPv6 アドレスを設定します。
- **デフォルトゲートウェイ** : ゲートウェイを設定します。
- **プライマリ DNS** : IPv6 サービスのデフォルト（1 番目）DNS サーバーの IP アドレスを設定します。

HTTP/RTSP

HTTP および RTSP は、信頼性の高い映像ストリーミングプロトコルです。ポート転送を正しく設定することで、映像をインターネットで送信することができます。HTTP ポート番号の変更については、ネットワーク管理者にお尋ねください。

[ネットワーク] → [HTTP/RTSP] から、HTTP、RTSP で使用するポートを設定します。[適用] をクリックして変更を反映します。

基本 >> ネットワーク >> HTTP/RTSP

HTTPポート

RTSPポート

ONVIF検索 オン オフ

RTCPチェック オン オフ

RTSP認証 オン オフ

エンコーダー1

エンコーダー2

エンコーダー3 (サービスなし)

エンコーダー4

- **HTTP ポート** : HTTP 接続で使用するポートを設定します。
- **RTSP ポート** : RTSP 接続で使用するポートを設定します。
- **ONVIF 検索** : オンにすると外部機器からの ONVIF 検索を有効にします。
- **RTCP チェック** : オンにすると RTSP パッケージの送信を有効化し通信を最適化します。
- **RTSP 認証** : オンにすると RTSP 接続時にユーザー名とパスワードを要求します。
- **エンコーダー** : エンコーダーの名前を変更できます。

HTTPS

本製品は HTTPS (Hypertext Transfer Protocol Secure) サービスに対応しています。HTTPS とは、データがユーザーのコンピュータやウェブサイト間を行き来する際に、データの統合性や秘匿性を確保するためのインターネットプロトコルです。どのようなウェブサイトを開覧する場合でも、オンラインにおいては安全性とプライバシー性の確保が重要視されます。

HTTPS は、HTTP のセキュリティを強化したものです。セキュリティ認証として、SSL プロトコルが追加されています。送信される情報が暗号化されるため、悪意の第三者がデータを傍受したとしても、データの内容を直接閲覧されることを防ぐことができます。

本製品で HTTPS を有効するには、[ネットワーク] → [HTTPS] の [HTTPS] で [有効] を選択し、[保存] をクリックします。

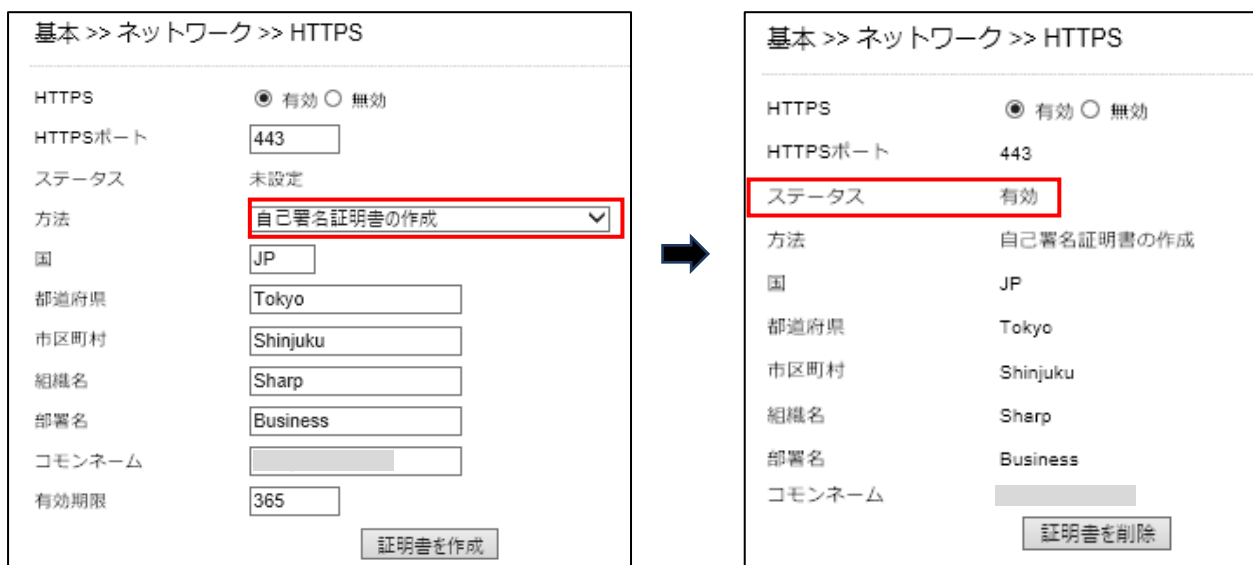
基本 >> ネットワーク >> HTTPS

HTTPS 有効 無効

HTTPS サービスには、2つの設定方法があります。

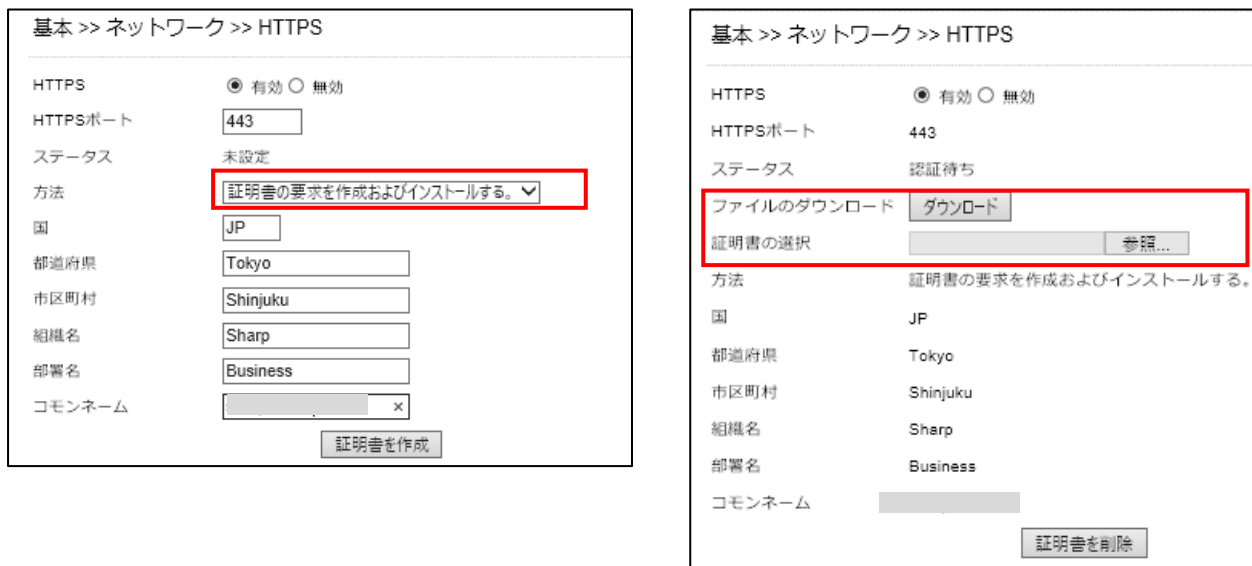
1つ目の設定方法は、自己署名証明書の作成です。[方法]の項目で[自己署名証明書の作成]を選択し、都道府県などの空欄に必要な事項を入力した後[証明書を作成]をクリックします。

[証明書作成中]の画面が表示された後、ステータスが[未設定]から[有効]に変更されます。



2つ目の設定方法は、SSL 証明書を購入する方法です。[方法]の項目で[証明書の要求を作成およびインストールする]を選択し、必要事項を入力した後[証明書の作成]をクリックします。

第三者機関からSSL 証明書を購入後、お使いのパソコンからSSL 証明書をダウンロードします。ダウンロードが成功すると、ステータスが[未設定]から[有効]に変更されます。



DDNS

本製品は、DDNS サービスに対応しています。DDNS サービスを使用することで、DNS サーバーを自動的にアップデートできます。

DDNS サービスを利用するには、[ネットワーク] → [DDNS] を選択し、「DDNS」で [有効] を選択します。

DDNS サーバーを選択してから必要事項を入力の上適用をクリックし、変更を反映します。

- **DDNS サーバーアドレス** : 使用する DDNS サーバーを選択します。
- **DDNS** : DDNS サービスを利用する場合 [有効] を選択します。
- **ユーザー名** : DDNS で使用するユーザー名を設定します。
- **パスワード** : DDNS で使用するパスワードを設定します。
- **新しいパスワード** : 確認のためパスワードを再度入力します。
- **ホスト名** : DDNS ホスト名を設定します。
- **WAN 側 IP アドレス** : WAN の IP アドレスを設定します。

メモ:

- DDNS サービスを利用するには、インターネットに接続する必要があります。

SNMP

本製品は、SNMP (Simple Network Management Protocol) に対応しています。SNMP を利用することで、本製品および周辺のネットワーク機器 (ルーターなど) にネットワーク障害が発生した場合に、どの機器に障害が発生したのかわかるようになります。

SNMP を利用するには、[ネットワーク] → [SNMP] の「SNMP」で [有効] を選択します。

使用する SNMP の種類 (SNMP v1/v2 または SNMP v3) に応じて各項目を編集し、[適用] をクリックして変更を反映します。

基本 >> ネットワーク >> SNMP

SNMP 有効 無効

SNMP v1/v2

読み出し専用コミュニティ

読み出し/書き込みコミュニティ

SNMP v3

ユーザー名

認証パスワード (MD5)

プライバシーパスワード (DES)

読み出し/書き込みセキュリティ名

読み出し専用のセキュリティ名

SNMP ハートビート 有効 無効

SNMP ハートビートサーバ

SNMP ハートビート間隔 秒

- **SNMP** : SNMP を利用する場合 [有効] を選択します。
- SNMP v1/v2 を利用する場合、以下の項目を設定します。
- **読み出し専用コミュニティ** : 読み出し専用のコミュニティ名を設定します。
 - **読み出し/書き込みコミュニティ** : 読み出し/書き込み用のコミュニティ名を設定します。
- SNMP v3 を利用する場合、以下の項目を設定します。
- **ユーザー名** : ユーザー名を設定します。
 - **認証パスワード (MD5)** : MD5 認証で使用するパスワードを設定します。
 - **プライバシーパスワード (DES)** : DES 認証で使用するパスワードを設定します。
 - **読み出し/書き込みセキュリティ名** : 読み出し/書き込み用のセキュリティ名を設定します。
 - **読み出し専用セキュリティ名** : 読み出し専用のセキュリティ名を設定します。
- SNMP ハートビートを利用する場合、以下の項目を設定します。
- **SNMP ハートビート** : [有効] にすると SNMP ハートビートを利用できます。
 - **SNMP ハートビートサーバ** : SNMP ハートビートサーバを設定します。
 - **SNMP ハートビート間隔** : SNMP ハートビート間隔を 1 ~ 60 秒から選択します。

■メンテナンス

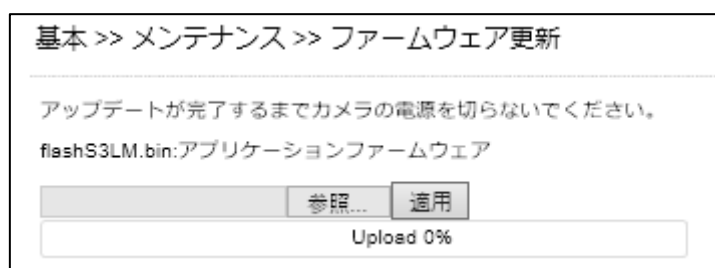
本製品のファームウェアを更新したり、本製品を初期化する（工場出荷時の設定に戻す）には、設定画面から「メンテナンス」を選択します。

ライブ | 基本モード | 詳細モード | 言語 | ログアウト



ファームウェア更新

本製品のファームウェアを更新するには、「参照...」をクリックし、アップデートファイルの保存場所を指定します。適用をクリックしてファームウェア更新を開始します。



ご注意：

- 更新中は本製品の電源を切らないでください。本製品に修復不可能な損傷が発生する恐れがあります。

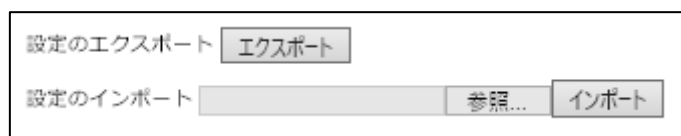
メモ：

- アップデートファイルは下記 URL からダウンロードすることができます。
<https://jp.sharp/business/security-camera/>

設定エクスポート／インポート

本製品の設定を他のカメラにエクスポートするには、「設定のエクスポート」の「エクスポート」をクリックします。

他のカメラから設定をインポートするには、「参照...」をクリックしてインポートするファイルを指定し、「インポート」をクリックします。



システム再起動

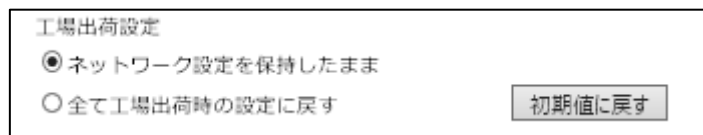
「システム再起動」をクリックすると、システムを再起動します。



工場出荷設定

ユーザーや日時などのシステム設定および IP アドレス等のネットワーク設定を保持したまま、その他の設定項目を工場出荷時の設定（初期設定）に戻したい場合、[ネットワーク設定を保持したまま] を選択し、[初期値に戻す] をクリックします。

システム設定およびネットワーク設定を含むすべての設定を工場出荷設定（初期設定）に戻すには、[全て工場出荷時の設定に戻す] を選択し、[初期値に戻す] をクリックします。



工場出荷設定

ネットワーク設定を保持したまま

全て工場出荷時の設定に戻す

初期値に戻す

ご注意：

- [全て工場出荷時の設定に戻す] を選択した場合、カメラの IP アドレスが初期値（192.168.0.200）に戻ります。
- ユーザーアカウントもすべて消去されます。新しいユーザーアカウントを設定してください。

ログインパスワードを忘れた場合など、Web ブラウザーにアクセスできない場合、本体のリセットボタンから本製品を工場出荷状態に戻すことができます。

以下の手順を実行してください。

1. 電源が供給されている状態で本体の「リセットボタン」を 10 秒以上押し続けます。
2. リセットボタンから手を離します。
3. 約 40 秒後、設定が初期化され、自動的に再起動します。
4. Web ブラウザーから本製品にアクセスします。初期 IP アドレスは 192.168.0.200 です。
5. セキュリティ確保のため、初回ログイン時にユーザー名とパスワードを作成してください。

詳細設定

基本の設定よりも高度な設定について説明します。

設定画面の [詳細モード] を選択します。[基本モード] では表示されなかった [スマートイベント] と [通知] のタブが表示されます。また、基本モードから表示されていた [システム] [映像] [ネットワーク] のタブにも設定項目が追加されます。本章では、[基本モード] から追加された項目について説明します。

ライブ | 基本モード | **詳細モード** | 言語 | ログアウト

システム

映像

ネットワーク

スマートイベント

通知

メンテナンス

■ システム設定

詳細モードでは、項目に「システムログ」が追加されます。

ライブ | 基本モード | 詳細モード | 言語 | ログアウト

システム

映像

ネットワーク

スマートイベント

通知

メンテナンス

一般設定

ユーザー

日時

OSD

システムログ

システムログ

[システムログ] では、システムが生成したログ情報を閲覧することができます。

[保存] をクリックすると、ログを SQLite 形式でエクスポートできます。また、「検索」の入力欄にキーワードを入力してログファイルを検索することができます。

詳細 >> システム >> システムログ

検索

ページ 1 ▼

IP Position	User	Date	Log Info
192.168.0.80	admin	2021/01/07 09:55:48	DDNS MANUAL UPDATE (SYSTEM MESSAGE)
192.168.0.80	admin	2021/01/07 09:25:18	STREAM LOGOUT ENCODER 2 (SYSTEM MESSAGE)
192.168.0.80	admin	2021/01/07 09:25:18	USER LOGIN ENCODER 2 (SYSTEM MESSAGE)

■映像設定

詳細モードでは、「画質 詳細」「ホワイトバランス調整」「オートフォーカス」「デイナイト」「ROI」「プライバシーマスク」「レンズ歪曲補正」が加わります。

ライブ | 基本モード | 詳細モード | 言語 | ログアウト



画質の詳細設定

[映像] → [画質 詳細] から BLC、露出値、WDR、Auto Gain Control、および赤外線 LED 等の設定を行い、カメラの映像品質を調整することができます。

本製品では、デイモード、ナイトモードそれぞれについて映像品質を調整することができます。特に夜間の映像を明るくする感度アップ機能を使用する際に便利な設定です。デイモード、ナイトモードの切り替えについては、後述のデイナイトから設定することができます。



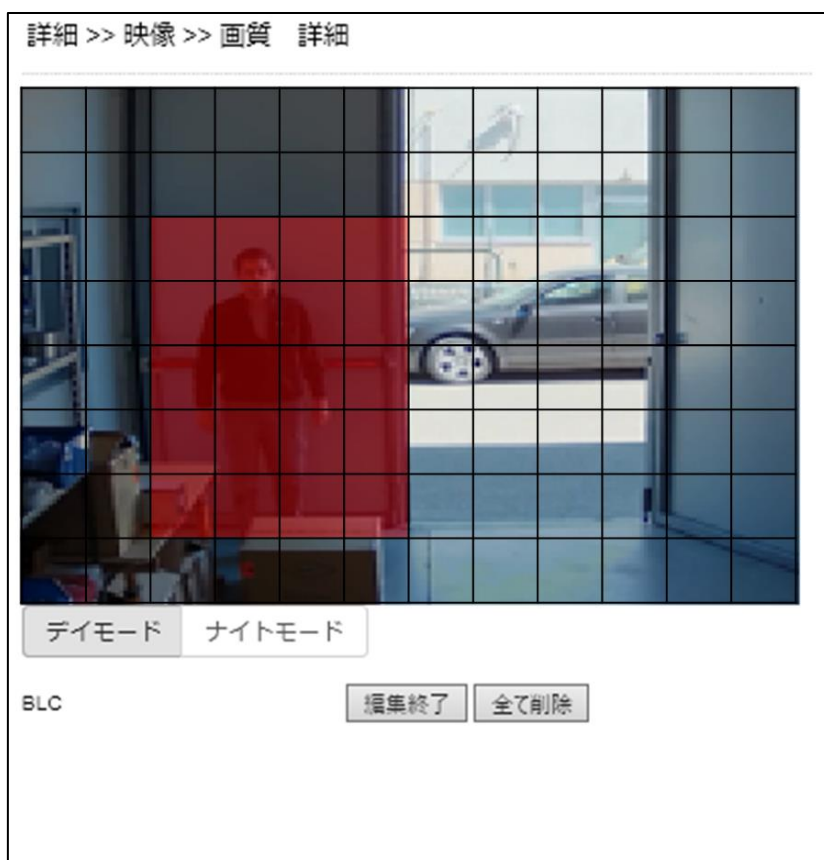
- **BLC** : 逆光補正を調節します。詳しくは後述します。
- **露出値** : 露出の値を調節します。値が高いほど映像が明るくなります。
- **WDR** : ワイドダイナミックレンジ（逆光環境でより鮮明な映像を撮影する機能）を設定します。オフ、自動、×2、×3、×4 から選択できます。
- **シャッタースピード（秒）** : シャッタースピードの最小値と最大値を設定します。
- **Auto Gain Control** : Auto Gain Control を調節します。詳しくは後述します。
- **感度アップ** : 感度アップ（暗所でより明るい映像を撮影する機能）を調整します。値が大きい程映像が明るくなります。
- **カラーモード** : 映像のカラー/白黒を切り替えます。
- **赤外線 LED** : 赤外線 LED の明るさを調節します。
- **赤外線カットフィルター** : 赤外線カットフィルターのオン/オフを切り替えます。
- **過剰露出軽減** : 赤外線の反射などの強い光を軽減します。

●BLC（逆光補正）

本製品には、BLC 逆光補正機能が搭載されています。

「BLC」の [編集] をクリックすると、補正範囲設定画面が表示されます。明るく表示させたいエリアをクリックまたはドラッグして範囲を設定します。選択を解除する場合は、該当エリアを再度クリックします。[全て削除] をクリックするとすべての選択エリアを解除します。

設定後、[編集終了] をクリックすると元の画面に戻ります。



● Auto Gain Control (AGC)

Auto Gain Control (AGC) とは低光量の環境下でも良好な画質の映像を得ることができる機能です。デイモード (カラー)、ナイトモード (白黒) どちらでも使用できます。

AGC は、6/12/18/24/30/36/42/48/56/60dB から選択でき、低光量の場合は大きい値を設定することで、より明るい映像を得ることができます。

AGC を使用しても映像が暗い場合は、感度アップをオンにしてください。ただし、感度アップを使用すると低光量下でモーションブラーが起きることがあります。



<オフ> <AGC オン> <AGC+感度アップ オン>

● 感度アップ

感度アップはスローシャッターで映像を明るく補正する機能です。特に低光量の環境下で効果をされます。

感度アップ オフ

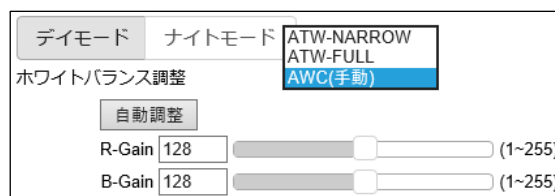


感度アップ オン



ホワイトバランス調整

本製品には、昼夜ホワイトバランス制御機能が搭載されています。



- **ホワイトバランス調整** : ホワイトバランス調整の方法を ATW-NARROW (自動/狭範囲) /ATW-FULL (自動/広範囲) /AWC(手動)から選択します。手動を選択した場合、次の項目を調整してください。
 - **R-Gain** : 赤ゲインに対する自動ホワイトバランスを調整します。
 - **B-Gain** : 青ゲインに対する自動ホワイトバランスを調整します。
- [自動調整] をクリックすると、自動でホワイトバランスを調整・維持します。

オートフォーカス

[映像] → [オートフォーカス] から、フォーカスを自動調整する際の条件を変更できます。

ズームスピード	1	ズームイン	ズームアウト
フォーカススピード	2	短焦点	長焦点
		短焦点 微調整	長焦点 微調整
クイックズーム	広角	1	2
		3	狭角
クイックフォーカス	オートフォーカス	フルスキャン	
レンズの初期化	開始		

- **ズームスピード** : ズームイン/ズームアウトの速度を変更できます。
- **フォーカススピード** : 短焦点/長焦点/単焦点 微調整/長焦点 微修正の速度を設定できます。
- **クイックズーム** : 指定した倍率にズームします。
- **クイックフォーカス** : 自動でフォーカス調整をおこないます。
- **レンズの初期化** : 開始すると、ズームスピード、フォーカススピード、ズーム倍率を工場出荷時の設定に戻します。

デイナイト

[映像] → [デイナイト] から、デイモード（カラー）とナイトモード（モノクロ）の切り替えについて設定できます。

詳細 >> 映像 >> デイナイト	
<input checked="" type="radio"/> 自動	切替遅延時間 2 秒
現在の明るさ	100
デイからナイトへの切替閾値	6
ナイトからデイへの切替閾値	12
<input type="radio"/> デイモード	
<input type="radio"/> ナイトモード	
<input type="radio"/> スケジュール	
デイナイト切替時のモーション検知	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
デイナイト切替時のモーション検知無効時間	10 秒
適用	

「自動（自動切り替え）」、「デイモード（デイモードに固定）」、「ナイトモード（ナイトモードに固定）」、「スケジュール（スケジュール切り替え）」の中から選択できます。

- **自動** : 光センサーからの信号に従って赤外線 LED が自動でオン/オフします。切替遅延時間は、周囲の明るさが変わってからモードを切り替えるまでの時間です。
- **デイモード** : 赤外線カットフィルターが常にオン（赤外線 LED が常時オフ）となります。映像は常時カラーで表示されます。
- **ナイトモード** : 赤外線カットフィルターが常にオフ（赤外線 LED が常時オン）になります。映像は常時モノクロで表示されます。
- **スケジュール** : 指定された時刻に赤外線カットフィルターがオン/オフされます。

「デイナイト切替時のモーション検知」を有効にすると、デイモードとナイトモードを切り替える際にもモーション検知が有効になります。誤検知の可能性があるため、無効を推奨します。

デイナイト切替時のモーション検知無効時間は、「デイナイト切替時のモーション検知」が無効の場合にモーション検知機能を無効化する時間です。5 秒～30 秒まで設定できます。

ROI

カメラ映像のうち必要な領域を切り出して出力させる機能を ROI（Region of Interest）と言います。本製品には ROI 機能が搭載されています。

[映像] → [ROI] から ROI 機能を設定できます。



- **ROI** : ROI 有効にチェックすると ROI 機能を利用できます。
- **ストリームプロファイル** : ストリームプロファイルを選択します。
- **プリセット** : プリセットを利用する場合にプリセット番号を設定します。16 個まで登録できます。登録するには [保存] をクリックします。[全て解除]
- **休止時間** : プリセット位置での静止時間を設定します。
- **スピード** : 変更するスピードを設定します。

- ① ホームポジションに戻ります。
- ② 矢印の方向に移動します。
- ③ ズームイン/ズームアウトします。
- ④ オートパン（自動でプリセット位置を巡回）を開始します。

ご注意：

- ROI、ePTZ は、レンズ歪曲補正が有効の場合、設定できません。

メモ：

- ROI を有効化すると、ライブ画面の ePTZ 操作パネルの表示が ROI に替わりますが、操作方法は同じです。

プライバシーマスク

本製品の映像上に、最大 4 箇所までプライバシーマスクを設定することができます。

設定画面 [映像] → [プライバシーマスク] を選択し、有効/無効のタブで有効を選択します。マスク番号（1～4）を選択し、映像上でマスクしたい部分をドラッグして指定します。

[削除] ボタンをクリックすると、選択しているマスク番号のマスクを削除します。[全て削除] ボタンをクリックすると、すべてのマスクを削除します。



ご注意：

- プライバシーマスクは、レンズ歪曲補正が有効の場合、設定できません。

レンズ歪曲補正

レンズ歪曲補正 (LDC) は、ソフトウェアによるワイドレンズ歪曲補正です。LDC 機能によって、レンズに起因する歪みを補正することができます。

[レンズ歪曲補正] の有効にクリックし、長さズームの値を変更して補正を調整します。





ご注意：

- レンズ歪曲補正機能は、メインストリームに画面比率 4:3 を適用している場合は使用できません。メインストリームの画面比率を 16:9 に設定してください。
- ROI、ePTZ、プライバシーマスクは、レンズ歪曲補正機能が有効の場合、利用できません。

■ ネットワーク設定

詳細モードでは、「マルチキャスト」「IPアドレスフィルター」「UPnP」「Bonjour」「SDDP/ハートビート」「MACアドレスフィルター」「IEEE 802.1x」が加わります。

ライブ | 基本モード | 詳細モード | 言語 | ログアウト



マルチキャスト

マルチキャストを有効にすることで、一つのストリームを複製して複数のクライアントに配信することが可能になります。

[ネットワーク] → [マルチキャスト] から、各ストリームのマルチキャストの有効/無効、IPアドレス、ポート番号（映像/音声）、TTLを設定できます。

詳細 >> ネットワーク >> マルチキャスト

エンコーダー-1	マルチキャスト	<input type="radio"/> 有効 <input checked="" type="radio"/> 無効
	IPアドレス	<input type="text" value="239.0.0.0"/>
	映像ポート	<input type="text" value="1234"/> (2-65534)
	映像ポート(RTCP)	<input type="text" value="1235"/> (2-65534)
	音声ポート	<input type="text" value="1236"/> (2-65534)
	音声ポート(RTCP)	<input type="text" value="1237"/> (2-65534)
	TTL	<input type="text" value="5"/> (1-255)
エンコーダー-2	サービスなし	
エンコーダー-3	マルチキャスト	<input type="radio"/> 有効 <input checked="" type="radio"/> 無効
	IPアドレス	<input type="text" value="239.0.0.2"/>
	映像ポート	<input type="text" value="5568"/> (2-65534)
	映像ポート(RTCP)	<input type="text" value="5569"/> (2-65534)
	音声ポート	<input type="text" value="5570"/> (2-65534)
	音声ポート(RTCP)	<input type="text" value="5571"/> (2-65534)
	TTL	<input type="text" value="5"/> (1-255)
エンコーダー-4	マルチキャスト	<input type="radio"/> 有効 <input checked="" type="radio"/> 無効
	IPアドレス	<input type="text" value="239.0.0.3"/>
	映像ポート	<input type="text" value="5572"/> (2-65534)
	映像ポート(RTCP)	<input type="text" value="5573"/> (2-65534)
	音声ポート	<input type="text" value="5574"/> (2-65534)
	音声ポート(RTCP)	<input type="text" value="5575"/> (2-65534)
	TTL	<input type="text" value="5"/> (1-255)

IP アドレスフィルター

IP アドレスフィルターを有効にすることで、本製品への不正なアクセスをブロックすることができます。

本機能を利用するには、「IP アドレスフィルター」を有効にします。

特定の IP アドレスからのアクセスだけを許可する場合は、「許可／拒否」で「許可」を選択し、許可する IP アドレスを入力して [適用] をクリックします。

特定の IP アドレスからのアクセスを拒否する場合は、「許可／拒否」で「拒否」を選択し、拒否する IP アドレスを入力して [適用] をクリックします。

適用されると、設定した IP アドレスがリストに表示されます。

設定を取消したい場合は、リストから該当する IP アドレスを選択して [削除] をクリックします。

ご注意：

- 「許可」する IP アドレスに、本製品にアクセスしているパソコンの IP アドレス以外のみ設定すると、自動的にログアウトしカメラにアクセスできなくなりますのでご注意ください。

UPnP

UPnP サービスは、ローカルネットワーク環境においてお使いのパソコンでネットワークカメラを識別できるようにするネットワークプロトコルです。

UPnP サービスを有効化するには、[ネットワーク] → [UPnP] の「UPnP サービス」を有効に設定し、[適用] をクリックします。

UPnP プロトコルを介してネットワークカメラを確認するには、パソコンの「ネットワーク」を確認します。

メモ：

- 本サービスは Windows パソコン以外では利用できません。

Bonjour

Bonjour は Apple によって実装されたゼロ・コンフィグレーション・ネットワークプロトコルです。

Bonjour サービスを有効化するには、[ネットワーク] → [Bonjour] の「Bonjour」を有効に設定し、装置名を入力して [適用] をクリックします。

SDDP/ハートビート

本製品は SDDP/ハートビートに対応しており、同サービスを介して対応デバイスと接続できます。

デバイスと接続する前に、[ネットワーク] → [SDDP/ハートビート] から [SDDP サービス] および [ハートビート サービス] を有効してください。

MACアドレスフィルター

遠隔からの不正なクライアントアクセスを防ぐには、MAC アドレスフィルターを有効化します。アクセスを許可する MAC アドレスを指定することによって、不正なアクセスを防ぐことができます。

MAC アドレスフィルターを有効にするには、[ネットワーク] → [MACアドレスフィルター] で「MAC アドレスフィルター」を「有効」に設定します。

許可または拒否する MAC アドレスを入力し、[適用] をクリックします。

設定を解除する場合は、該当の MAC アドレスを選択し、[削除] をクリックします。

IEEE 802.1x

IEEE 802.1x を設定することで、不正なアクセスを防止し本製品のセキュリティを高めることができます。

詳細 >> ネットワーク >> IEEE 802.1x

IEEE 802.1x	<input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効
IEEE 802.1x ステータス	未認証
EAP方式	EAP-PEAP ▼
ID	<input type="text"/>
パスワード	<input type="password"/>
パスワード確認	<input type="password"/>
CA証明書	<input type="text"/> 参照... アップロード 削除
ステータス	

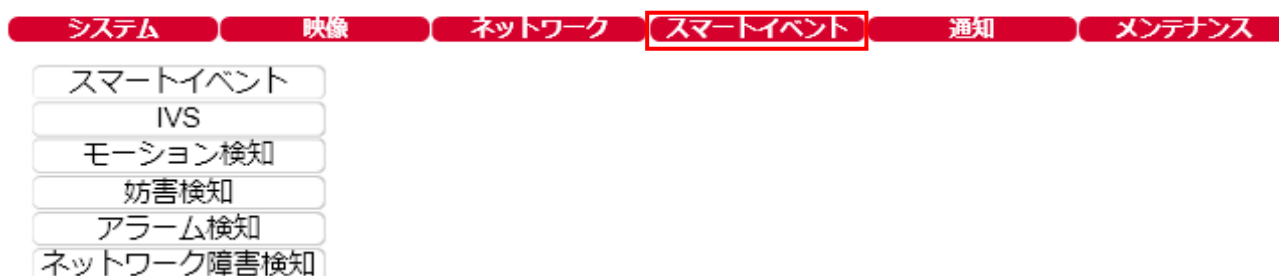
■スマートイベント

スマートイベントでは、カメラが動体や妨害、ネットワーク異常などを検知した際にメール通知やFTP転送などのアクションを実行するように設定することができます。

本製品の検知機能には、モーション検知、アラーム検知、ネットワーク障害検知、妨害検知、ラインクロス検知、カラー検知、カウント機能があります。また、イベントが発生した際のアクションには、FTP転送、メール通知、SDカード録画などがあります。

スマートイベントを設定するには、まず、利用する検知機能を [IVS] から選択してください。その後、利用する検知機能について、機能の有効化および検知エリアや感度などを設定し、スマートイベントで、検知スケジュールや実行するアクションについて設定してください。実行するアクションの詳細については、[通知] から設定できます。

ライブ | 基本モード | 詳細モード | 言語 | ログアウト



メモ：

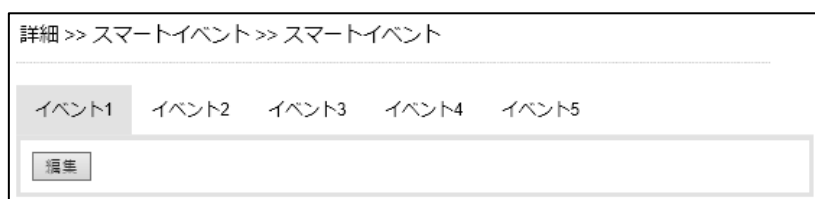
- [スマートイベント] で左側に表示されるメニューは、[IVS] で設定する内容によって変わります。工場出荷状態では [IVS] で「モーション検知」が選択されており、上図のようにメニューが表示されます。
- [アラーム検知] [ネットワーク障害検知] メニューは、[IVS] の設定内容に関わらず常に表示されます。

スマートイベント

[スマートイベント] → [スマートイベント] から、イベントが発生した場合のアクションなどを設定/変更できます。

イベントは5つまで登録でき、各イベントについて有効/無効、イベント名、条件（1～5）、スケジュール、実行（設定した条件の内容が発生した際のアクション）を設定できます。

イベントを設定するには、設定するイベントを1～5から選択して [編集] をクリックします。



「イベントを有効」にチェックを入れ、[イベント名] および [条件名] を入力し、[トリガー] タブでイベント分類を選択します。

検知する条件（トリガー）や検知時間、休止時間を設定し、[イベントを保存] をクリックします。

メモ：

- [スマートイベント] → [I V S] で選択している検知機能によって、表示される検知条件（トリガー）が異なります。有効にしたい条件（トリガー）が表示されていない場合は、[I V S] で検知機能を変更してください。

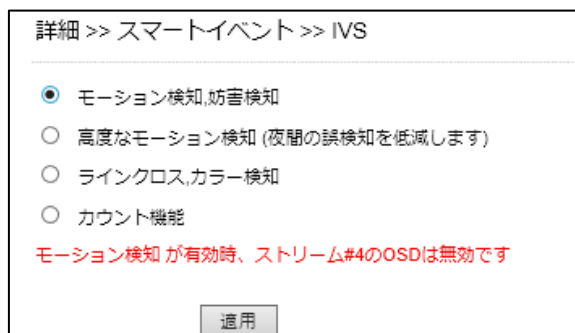
検知スケジュールを設定するには、[スケジュール] のタブを選択し、イベント検知を有効にしたい時間帯を設定します。[休日リストを有効にします] のチェックボックスをオンにすると、[日時] で設定した休日リストのスケジュールに合わせてイベント検知が有効になります。

イベント検知した際のアクションを設定するには、「実行」のタブを選択し、条件が発生した場合のアクションを設定します。すべて設定して [イベントを保存] をクリックします。

- **FTP 転送** : FTP サーバーにスナップショットを送信します。
- **メール通知** : スナップショットをメールで送信します。
- **SD カード録画** : SD カードに動画データを保存します。
- **Samba サービス** : Samba サーバーに動画データを保存します。
- **アラーム出力** : カメラのアラーム出力をトリガーします。
- **HTTP 通知** : 指定したウェブサイトのアラームを通知します。
- **SNMP トラップサービス** : SNMP トラップを送信します。

IVS

スマートイベントで利用する検知機能を [スマートイベント] → [IVS] から選択します。
検知機能を選択し、[適用] をクリックします。



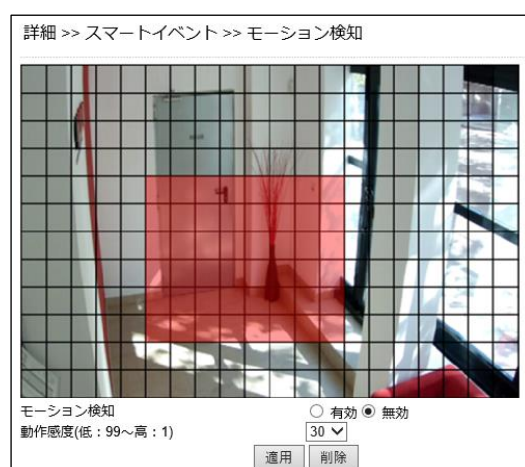
メモ:

- 高度なモーション検知は、夜間におけるモーション検知の誤検知を低減します。
- 選択した内容に応じて、[スマートイベント] のメニューや、[スマートイベント] 設定の条件の内容が変更されます。

モーション検知

モーション検知における感度および検知エリアを設定するには、[スマートイベント] → [モーション検知] を選択します。

検知エリアを、マウスのダブルクリックまたはドラッグで設定します。赤く表示されたエリアが検知エリアです。選択を解除するには、再度ダブルクリックするか、マウスの右クリックでドラッグします。[削除] をクリックすると、すべての選択エリアを解除します。



- **モーション検知** : モーション検知の有効/無効を選択します。
- **動作感度** : 検知感度を設定します。数値が小さい程、小さい動きでも検知します。

妨害検知

妨害検知では、カメラの向き（視野）が変更されたり、レンズが布や塗料などで覆われたりして視野が遮られたことを検知します。

妨害検知を設定するには、[スマートイベント] → [妨害検知] を選択します。

妨害検知 有効 無効
 実行時間 5 ↓ 秒
 休止時間 10 ↓ 秒
 適用

- **妨害検知** : 妨害検知の有効/無効を選択します。
- **実行時間** : 妨害が発生してから検知するまでの判定時間を設定します。
- **休止時間** : 妨害を検知してから、次の判定を開始するまでの休止時間を設定します。検知の ODS 表示を有効にしている場合、休止時間の間「T」マークが表示されます。

高度なモーション検知

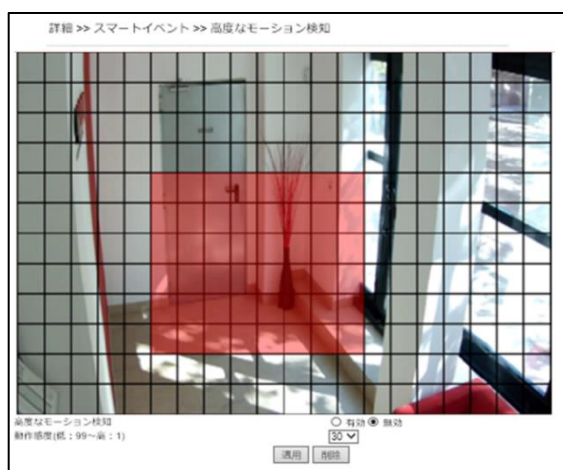
高度なモーション検知では、フォーパスフィルターを用いて動体を識別することで、より高精度の動体検知を実現します。これにより、誤検知の発生を軽減することができます。

高度なモーション検知を設定するには、[スマートイベント] → [高度なモーション検知] を選択します。

メモ:

- [スマートイベント] → [IVS] で [高度なモーション検知] が選択されていない場合、メニューに「高度なモーション検知」は表示されません。

検知エリアを、マウスのダブルクリックまたはドラッグで設定します。赤く表示されたエリアが検知エリアです。選択を解除するには、再度ダブルクリックするか、マウスの右クリックでドラッグします。[削除] をクリックすると、すべての選択エリアを解除します。



- **高度なモーション検知** : 高度なモーション検知の有効/無効を選択します。
- **動作感度** : 検知感度を設定します。数値が小さい程、小さい動きでも検知します。

ラインクロス検知/カラー検知

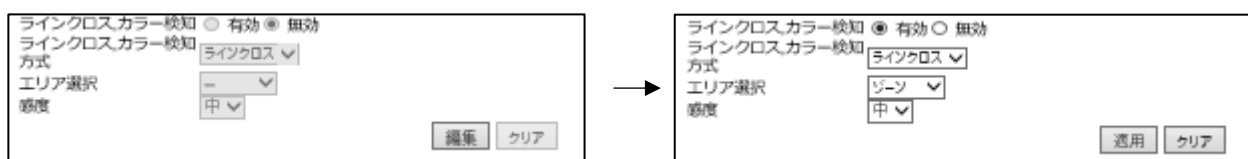
ラインクロス検知は、あらかじめ設定したラインを動体が横切ったことを検知します。カラー検知は、映像に赤/青/黄/緑が映ったことを検知します。

ラインクロス検知を設定するには、[スマートイベント] → [ラインクロス, カラー検知] を選択します。

メモ:

- [スマートイベント] → [IVS] で [ラインクロス, カラー検知] が選択されていない場合、メニューに「ラインクロス, カラー検知」は表示されません。

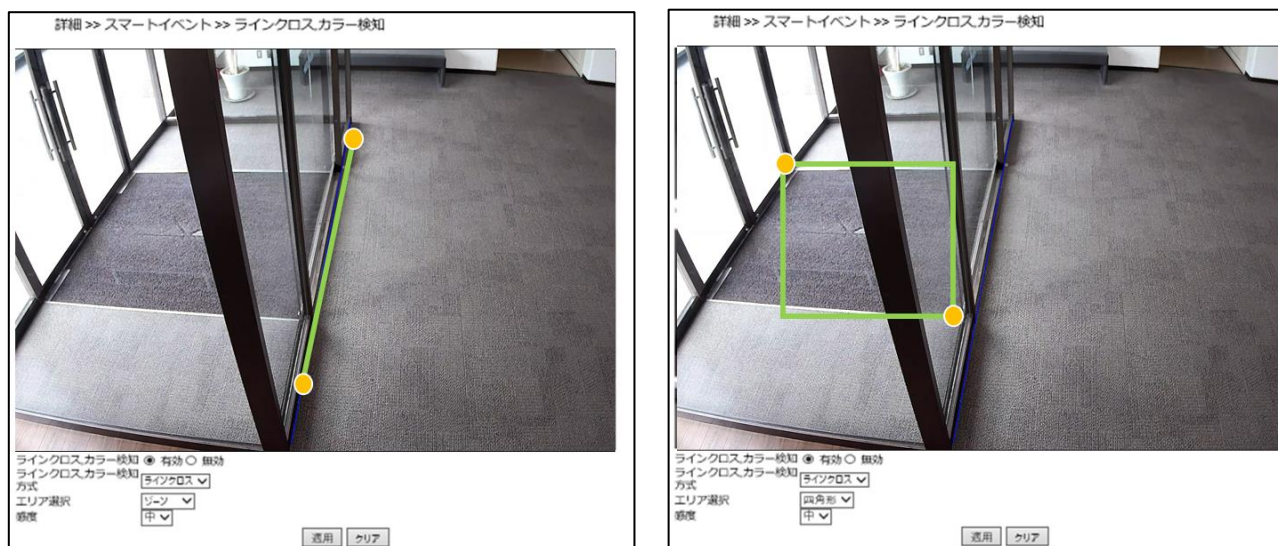
[編集] をクリックして、設定を編集します。



- **ラインクロス, カラー検知** : ラインクロス, カラー検知の有効/無効を選択します。
- **ラインクロス, カラー検知方式** : ラインクロス/カラー検知を選択します。

● **ラインクロス検知**

検知エリアの形状を、ゾーン（ライン）または四角形から選択できます。ゾーンの場合、設定したラインを動体が横切ったことを検知します。四角形の場合、設定した四角形の枠内に動体が侵入したことを検知します。



- **エリア選択** : ゾーンまたは四角形から選択します。カメラ映像上でマウスをドラッグして検知エリア（ラインまたは四角形）を設定します。
- **感度** : 高/中/低から検知感度を選択します。

● **カラー検知**

検知エリアの形状を、ゾーン（ライン）または四角形から選択できます。ゾーンの場合、設定したライン上に指定色が映ると検知します。四角形の場合、設定した四角形の枠内に指定色が映ると検知します。

指定色は赤／黄／緑／青から選択できます。



- **エリア選択** : ゾーンまたは四角形から選択します。カメラ映像上でマウスをドラッグして検知エリア（ラインまたは四角形）を設定します。
- **感度** : 高／中／低から検知感度を選択します。
- **指定色** : 赤／黄／緑／青から選択します。
- **色識別精度** : 色の識別精度を設定します。数値が小さい程検知しやすくなります。

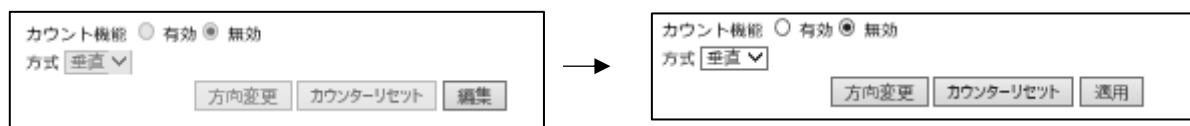
カウント機能

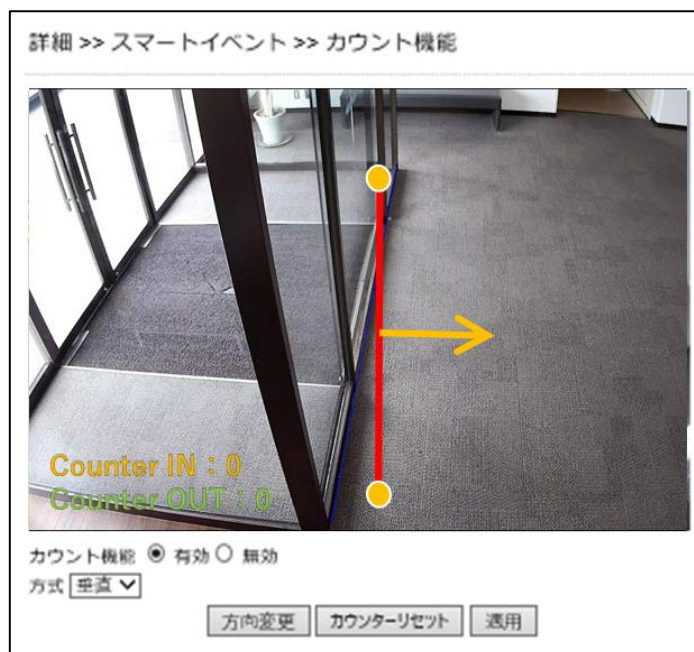
カウント機能は、設定したラインを指定の方向に横切った動体をカウントする機能です。カウント機能を設定するには、[スマートイベント] → [カウント機能] を選択します。

メモ：

- [スマートイベント] → [IVS] で [カウント機能] が選択されていない場合、メニューに「カウント機能」は表示されません。

[編集] をクリックして、設定を編集します。



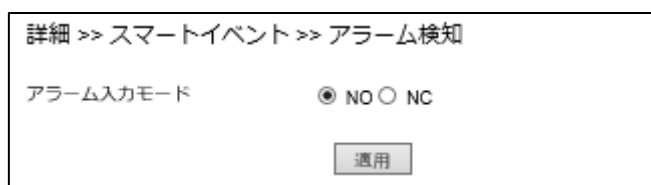


- **カウント機能** : カウント機能の有効/無効を選択します。
- **方式** : カウントするラインの向きを垂直/水平から選択します。
- **方向変更** : カウントを実行する方向を選択します。
- **カウンターリセット** : カウント数 (Counter IN/OUT) を0にリセットします。

アラーム検知

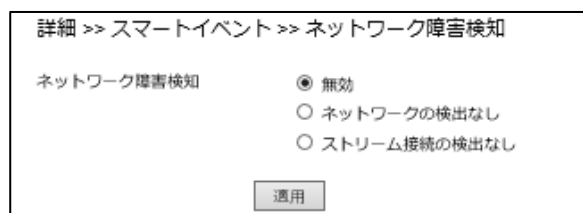
本製品は NO (ノーマルオープン) および NC (ノーマルクローズ) コントロールインターフェースに対応しています。

設定するには、本製品にセンサーなどの外部アラーム入力機器を接続します。次に、[スマートイベント] → [アラーム検知] から、入力機器について NO か NC かを切り替えます。



ネットワーク障害検知

ネットワーク障害検知では、ネットワーク遮断を検知することができます。



ネットワークの障害検知は以下から選択できます。

- **無効** : ネットワーク障害検知を無効にします。
- **ネットワークの検出なし** : 外部とのネットワーク接続が遮断されたことを検知します。
- **ストリーム接続の検出なし** : NVR などの映像受信機に映像ストリームを送信できないことを検知します。

メモ :

- PoE からカメラに電源供給している場合、ネットワーク接続が遮断されると同時に電源も遮断されるため、スマートイベントで検出後のアクションを設定していても実際には実行できません。ただし、カメラのシステムログに、ネットワーク障害を検知した記録は残ります。

■通知

通知では、[スマートイベント] の「実行」で設定したアクションの詳細条件を設定することができます。

通知について設定するには、[通知] を選択し、左側に表示される [FTP 転送] [メール通知] [HTTP 通知] [SD カード録画] [SD カードバックアップ] [Samba サービス] [MQTT サービス] メニューから、設定したい項目を選択してください。

ライブ | 基本モード | 詳細モード | 言語 | ログアウト

システム

映像

ネットワーク

スマートイベント

通知

メンテナンス

- FTP転送
- メール通知
- HTTP通知
- SDカード録画
- SDカードバックアップ
- Sambaサービス
- MQTTサービス

FTP 転送

スナップショットを FTP サーバーに送信することができます。[通知] → [FTP 転送] から設定する FTP サーバーを選択し、必要な FTP 情報を入力します。

詳細 >> 通知 >> FTP転送

FTPサーバー名	FTPサーバーアドレス	ポート
FTP ServerName	ftp.server.com	21
FTP2ServerName	ftp.server2.com	21
FTP3ServerName	ftp.server3.com	21

FTPサーバーNo.

FTPサーバー名

FTPサーバーアドレス

FTPサーバーポート

アカウント

パスワード

ディレクトリ

日付形式

プレフィックス

サフィックス

ファイル形式

FTP自動転送 有効 無効

FTP自動転送間隔

FTP サーバーとして、3 つの FTP サーバーが設定できます。

- **FTP サーバーNo.** : FTP 転送の管理番号です。
- **FTP サーバー名** : FTP サーバーの名前を設定します。
- **FTP サーバーアドレス** : FTP サーバーのアドレスを設定します。
- **FTP サーバーポート** : FTP サーバーのポート番号を設定します。
- **アカウント** : FTP サーバーにログインするためのユーザーアカウント名を設定します。
- **パスワード** : アカウントのパスワードを設定します。
- **ディレクトリ** : JPEG スナップショットを保存するファイルパスを設定します。
- **日付形式** : 送信ファイル名（日付）の表示形式を選択します。
- **プレフィックス** : JPEG ファイル名のプレフィックス（接頭辞）を設定します。

- **サフィックス** : JPEG ファイル名のサフィックス（接尾辞）を設定します。
- **ファイル形式** : JPEG ファイル形式を選択します。
- **FTP 自動転送** : FTP 自動転送（一定の時間間隔で FTP 転送を実行します）の有効／無効を選択します。
- **FTP 自動転送間隔** : FTP 自動転送する時間間隔を設定します（1 秒～1 日）。

メモ：

- ディレクトリのファイルパスは、半角英数字で設定する必要があります。

メール通知

JPEG スナップショットによるアラーム通知を e メールで実施することができます。[通知] → [メール通知] を選択し、必要な情報を入力してください。

詳細 >> 通知 >> メール通知

メール受信者 設定

メールアドレス1

メールアドレス2

メールアドレス3

メールアドレス4

メールアドレス5

メール送信者 設定

メールアドレス

SMTPサーバー

SMTP認証 ログイン認証
 SSL認証
 TLS認証

SMTPポート

認証 有効 無効

認証アカウント

認証パスワード

- **メール受信者 設定** : 受信するメールボックスのアドレスを設定します。最大 5 件まで設定できます。
- **メール送信者 設定** : 送信するメールボックスのアドレスを設定します。
- **SMTP サーバーアドレス** : メールサーバーのアドレスを入力します。
- **SMTP 認証** : 認証方式を選択します。
- **SMTP ポート** : ポート番号を設定します。初期ポート番号は 25（メールサーバーポート）です。
- **認証** : メールサービスの有効／無効を選択します。
- **認証アカウント** : メールサーバーのユーザー名を設定します。
- **認証パスワード** : 送信メールボックスのパスワードを設定します。

[テストメール送信] で正しく設定されているか確認できます。

HTTP 通知

POST プロトコルを介してウェブサイト上に通知することができます。[通知] → [HTTP 通知] を選択し、設定する HTTP POST サーバーを選択します。

詳細 >> 通知 >> HTTP通知

No.	HTTP POST サーバー名	HTTP POSTサーバーアドレス	ポート	添付ファイルフォーマット
1	httpservername	httpserver.com	80	テキスト
2	http2servername	httpserver.com	80	テキスト
3	http3servername	httpserver.com	80	テキスト
4	http4servername	httpserver.com	80	テキスト
5	http5servername	httpserver.com	80	テキスト
6	http6servername	httpserver.com	80	テキスト
7	http7servername	httpserver.com	80	テキスト
8	http8servername	httpserver.com	80	テキスト
9	http9servername	httpserver.com	80	テキスト
10	http10servername	httpserver.com	80	テキスト

HTTP POST サーバー名	<input type="text" value="httpservername"/>
HTTP POSTサーバーアドレス	<input type="text" value="httpserver.com"/>
HTTP POSTサーバーポート	<input type="text" value="80"/>
アカウント	<input type="text" value="admin"/>
パスワード	<input type="password" value="••••"/>
HTTP POST URL	<input type="text" value="/url"/>
添付ファイルフォーマット	<input type="radio"/> JPEG <input checked="" type="radio"/> テキスト
HTTP POST JSON	<input type="text" value="/json"/>

- **HTTP POST サーバー名** : HTTP POST サーバーを設定します。
- **HTTP POST サーバーアドレス** : HTTP POST サーバーの IP アドレスを設定します。
- **HTTP POST サーバーポート** : HTTP POST サーバーのポート番号を設定します。
- **アカウント** : アカウント名を入力します。
- **パスワード** : パスワードを入力します。
- **HTTP POST URL** : HTTP POST を送信するための CGI コマンドを設定します。
- **添付ファイルフォーマット** : 送信ファイルの形式を選択します。
- **HTTP POST JSON** : JSON テキストエディタを設定します。

HTTP POST URL および HTTP POST JSON 利用可能な記号とメッセージ例は次のとおりです。

%mac_addr% => MAC アドレス

%YYYY% => 年

%MM% => 月

%DD% => 日

%hh% => 時

%mm% => 分

%ss% => 秒

HTTP POST URL メッセージ例を以下に示します。

/API_EXAMPLE?MAC_Address=%mac_addr%&YEAR=%YYYY%

/API_EXAMPLE?MAC_Address=**.**.**.**.**.**.**.*.**&YEAR=2018

HTTP POST JSON メッセージ例を以下に示します。

{MAC_Address:"%mac_addr%",YEAR="%YYYY%"}

{MAC_Address:".**.".YEAR="2018"}

.**. : MAC アドレス

SD カード録画

[通知] → [SD カード録画] を選択し、[SD 録画] を [オン] にすることで、イベント発生時、自動で録画を開始することができます。

SD 録画を有効化する前に、本製品に SD カードが適切に挿入されていることを確認してください。



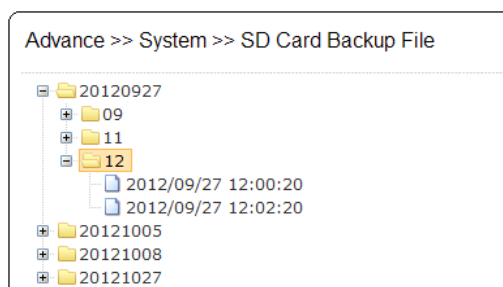
ご注意：

- SD カードを取り出す前に必ずマウント解除をクリックしてください。SD カードがマウントされた状態で取り出すと、ファイルシステムが壊れる可能性があります。

SD カードバックアップ

SD カードに録画されたデータのうち、特定のクリップをパソコンにバックアップすることができます。[通知] → [SD カードバックアップ] を選択し、該当ファイルをクリックして動画データをパソコンに保存します。

また、該当ファイルを右クリックして、映像を確認（再生/停止）することができます。



Samba サービス

Samba サービスは、Microsoft の Windows ネットワークを実装したフリーソフトウェアで、Windows のファイルサーバーやドメインコントローラ機能などを提供するサービスです。

本製品のストリーミング映像を Samba サーバーに録画できます。連続録画とプレアラーム録画が利用可能です。

この機能を使用するには、設定画面 [通知] → [Samba サービス] を選択し、Samba サービスの必要情報を入力します。常時録画の設定が可能で、Samba サーバーの容量が一杯になった場合は、最も古い録画ファイルに上書きして保存します。

詳細 >> 通知 >> Sambaサービス	
Samba 録画	<input type="radio"/> オン <input checked="" type="radio"/> オフ
Samba 録画OSD	<input type="radio"/> オン <input checked="" type="radio"/> オフ
Samba 常時録画	<input type="radio"/> オン <input checked="" type="radio"/> オフ
録画形式	エンコーダ-1 ▼
プレ録画時間	5 ▼ 秒
Samba サーバーアドレス	192.168.0.100
Samba サーバーポート	5000
Samba サーバーアカウント	admin
Samba サーバーパスワード	●●●●
Samba サーバーディレクトリ	/Public
Samba 状態	NORMAL
Samba 接続状況	Samba 未接続
Samba 容量	0 MBytes
Samba 空きスペース	0 MBytes
http://192.168.0.100:5000	
<input type="button" value="適用"/> <input type="button" value="接続解除"/> <input type="button" value="接続"/>	

- **Samba 録画** : Samba 録画サービスのオン/オフを選択します。
- **Samba 録画 OSD** : 動画データへのオンスクリーン表示のオン/オフを選択します。
- **Samba 常時録画** : Samba 常時録画のオン/オフを選択します。
- **録画形式** : AVI ファイルの録画形式を選択します。
- **プレ録画時間** : アラーム設定に基づくプレアラーム録画時間を表示しています。
- **Samba サーバーアドレス** : Samba サーバーの IP アドレスを設定します。
- **Samba サーバーアカウント** : Samba サーバーのアカウントを設定します。
- **Samba サーバーパスワード** : Samba サーバーのパスワードを設定します。
- **Samba サーバーディレクトリ** : Samba サーバー上の録画ファイル保存先ディレクトリのパスを設定します。
- **Samba 状態** : Samba サーバーのシステムステータスが表示されています。
- **Samba 接続状況** : Samba サーバーの接続ステータスが表示されています。
- **Samba 容量** : Samba サーバーのストレージ容量が表示されています。
- **Samba 空きスペース** : Samba サーバーの空きストレージ容量が表示されています。

メモ:

- Samba サーバーディレクトリのファイルパスは、半角英数字で設定する必要があります。

MQTT サービス

MQTT サービスは、

本製品は、(1)イベント通知、(2)コントロール、(3)リターンの3つのMQTT サービスに対応しています。また、Publish と Subscribe のサービスに対応しています。

この機能を使用するには、設定画面 [通知] → [MQTT サービス] を選択し、MQTT サービスの必要情報を入力します。

詳細 >> 通知 >> MQTTサービス

MQTT ステータス 有効 無効

MQTT サーバ

MQTT ポート

MQTTクライアントID

MQTT UUID

認証 有効 無効

ユーザー名

パスワード

Publish:
ipcam/646_000ffc5292fa/device/event

Subscribe:
ipcam/646_000ffc5292fa/device/event

- **MQTT ステータス** : MQTT サービスの有効/無効を設定します。
- **MQTT サーバ** : MQTT サーバー名を設定します。
- **MQTT ポート** : MQTT サービスで使用するポートを設定します。
- **MQTT クライアント ID** : カメラ固有のクライアント ID を設定します。
- **MQTT UUID** : カメラの MQTT ID を設定します。
- **認証** : 認証機能の有効/無効を設定します。
- **ユーザー名** : カメラのユーザー名を入力します。
- **パスワード** : ユーザー名に入力した ID のパスワードを入力します。

お客様ご相談窓口のご案内

本製品の使い方など一般のご相談ならびに修理についてのご相談・ご依頼は、お買いあげの販売店もしくは下記ご相談窓口へご連絡ください。

修理ご相談窓口

シャープマーケティングジャパン株式会社 ビジネスソリューション社



<全国共通>

0570-006-008（沖縄地域を除く）

■ 受付時間 月曜～土曜：9:00～17:40

（日曜・祝日など弊社休日は休ませていただきます）

全国どこからでも一律料金でご利用いただけます。

携帯電話からもご利用いただけます。

IP 電話をご利用の方は…

043-332-9957（東日本）

06-6794-9677（西日本）

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

シャープ株式会社および関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただいております。個人情報は適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。

個人情報の取り扱いの詳細については、
<https://corporate.jp.sharp/privacy-j.html> をご参照ください。

電話番号、受付時間などについては、変更になることがあります。（2022年6月現在）

シャープ株式会社

〒590-8522 大阪府堺市堺区匠町1番地